

ANNUAL REPORT

社会医療法人 寿量会

2023年度(令和5年度)

熊本機能病院
介護老人保健施設 清雅苑
指定運動療法施設 熊本健康・体力づくりセンター
ホームケアサポートセンター『訪問看護・訪問リハ・居宅介護事業所』
有明海リハビリテーションクリニック
暖
なないろ森の保育園

— 寿量グループ事業理念

寿量グループは「Social inclusion(社会的包摂)」の構築に貢献します

— 社会医療法人 寿量会憲章

私たちはQOLの向上とノーマライゼーションの確立への道を歩みます

— 熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします



社会医療法人 寿量会 2023年度(令和5年度)年報

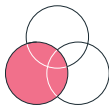
発行:社会医療法人 寿量会 〒860-8518 熊本県熊本市北区山室6丁目8番1号 TEL.096-345-8111

編集・制作:事務部 総務課 経営企画・広報係



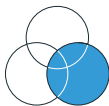
沿革・概要
HISTORY&OVERVIEW

目次	01	標榜科目 / 外来表 / 各センター等について	06
熊本機能病院の理念	02	共同利用型検査	07
ごあいさつ	03	外来受診のご案内	08
社会医療法人 寿量会	04	転院について	09
関連法人	05		



医療・介護活動のまとめ
SUMMARY OF MEDICAL CARE

令和5年度の主な活動と表彰	10	診療科別患者数・紹介率	19
月間MVT受賞チーム	11	病棟種別 入院・退院経路	20
ブライト企業 / 熊本県人権月間PRサポーター	12	平均在院日数 / クリニカルパス運用率	21
病院見学受け入れ	13	入院病名統計	22
「アウェアネスカラーライトアップ」の取り組み	14	入院時紹介元施設 / 退院時紹介先施設	23
令和6年能登半島地震災害支援	15	退院患者診療圏 / 退院患者年齢層	24
回復期リハビリテーション病棟協会	16	インシデント等報告状況 / 患者満足度調査	25
院内研修	18		



部署別報告
DEPARTMENTAL REPORT

整形外科	26	臨床検査部	46
形成外科・小児形成外科	31	看護部	48
形成外科・小児形成外科 / 小児科	32	栄養部	49
皮膚科	33	医療安全管理部門	50
リハビリテーション科・脳神経内科・内科	34	総合リハビリテーション部	52
内科 / 消化器外科	36	医療連携部	55
耳鼻咽喉科	37	ささえりあ	56
血管外科	38	清雅苑 / ホームケアサポートセンター	57
循環器内科	39	熊本健康・体力づくりセンター	61
リウマチ科 / 脳神経外科	41	通所介護 機能デイトレ	
救急科・外科	42	有明海リハビリテーションクリニック	62
放射線科・画像診断センター	43	暖	63
麻酔科	44	なないろ森の保育園	64
薬剤部	45		

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

患者さんの
ために
FOR PATIENTS

地域の
ために
FOR COMMUNITY

職員さんの
ために
FOR STAFF

患者さんのために

FOR PATIENTS

一貫した医療・生活自立支援

24時間体制、救急医療から疾病治療とリハビリテーション医療を通して生活自立支援までの一貫した医療を実践します

パートナーシップ

私たちは患者さんとのパートナーシップを重視します

高度治療

疾病の高度治療の充実を図ります

医療安全

安全はすべてに優先すると考えて医療を行います

個人情報の保護

職員は職務上知り得た個人情報を守ります

エビデンス

エビデンス(科学的根拠)に基づいた医療を実践します

チーム医療の実践

高い専門性を持った多職種のスタッフが目的と情報を共有し、連携・補完し合い的確な医療を提供します

地域のために

FOR COMMUNITY

地域包括ケア

保健・医療・介護・福祉・地域生活の連携を図ります

社会還元・SDGsの実践

健全経営を維持し、その成果を社会に還元してSDGsを推進します

「医療の谷間」解消

地域における「医療の谷間」の解消への努力をします

職員さんのために

FOR STAFF

教育・福利厚生

人材は「人財」と考え、教育・福利厚生を積極的に行います

働きがいのある職場

一人ひとりの自己実現・自己成長を支援し、働きがいのある職場風土を育みます

健康維持活動

職員さんの健康を守るために活動します

理事長挨拶

多くの人々に支えられた
2023年の1年間

社会医療法人寿量会 熊本機能病院は2024年に創立43年を迎えました。創立以来、地域の皆様、関連会社の皆様、医療介護機関の皆様、職員の皆様そして患者様に支えられ、「地域とともに」、「病院らしくない病院」を目指して独自性のある病院としての道を歩んでまいりました。

2023年もこれまで同様に多くの方々に支えられました。敷地ガーデンをお手入れしていただいた皆様、お花を育みきれいに並べてくださる皆様、院内をきれいに清掃していただく皆様、空調を快適に管理していただく皆様、横断歩道を誘導していただく皆様、地域と病院をつないでいただいた自治会、地域の皆様、機能病院を愛していただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年も地域、患者様のために当院がよりよい病院として成長できますよう日々を積み重ねてまいりたいと思います。



社会医療法人 寿量会
理事長

米満 弘一郎

KOICHIRO YONEMITSU

院長挨拶

充実した医療環境をつくるために

2023年5月より新型コロナウイルスは5類となり、コロナ禍が終わり世の中は徐々に日常生活を取り戻しています。コロナ患者さんは減少していますが、医療現場はまだまだ厳しい状況です。

2023年4月～2024年3月までの当院での緊急手術は65例で、2022年度の43例に比べて22例増加しています。整形外科手術は同時期に2,101例で、2022年度の2,084例と比べて17例増加し、形成外科では640例とほぼ同数でした。脳神経外科は81例、2022年度85例と4例減少していますが、全体的にみるとほぼ横ばいとなっています。

今後は現在不足している看護師を増やし、外国の方を看護助手・介護士として採用し、入院・外来の患者さんに対応できるようにしたいと思います。



熊本機能病院
院長

中島 英親

HIDECHIKA NAKASHIMA



熊本機能病院

院長：中島 英親
病床数：395床

- 一般病棟：138床
- 地域包括ケア病棟：55床
- 回復期リハビリテーション病棟：131床
- 障害者施設等一般病棟：71床



介護老人保健施設 清雅苑

施設長：野尻 晋一
入所：定員80床
○通所リハビリテーションセンター：定員140名



指定運動療法施設
熊本健康・体力づくりセンター

所長：原田 栄作
○デイサービス機能デイトレ
：定員20名



暖

- 在宅サービス事業
- 医療・福祉施設販売事業
- 熊本機能病院内販売事業



ホームケアサポートセンター

- 訪問リハビリテーションセンター清雅苑
- 熊本機能病院在宅サービスセンター
- 訪問看護ステーション清雅苑



なないろ森の保育園
(熊本市保育所型事業所内保育事業)

園長：小池 亜津子
定員：25名(0歳～2歳)



有明海リハビリテーションクリニック

院長：梶原 瑞恵
○有明海通所リハビリテーション
センター：定員20名

社会福祉法人 寿量会

開設年月日 平成2年4月19日

管理者 会 長：米満 弘之
理事長：梶原 瑞恵



特別養護老人ホーム天寿園
特別養護老人ホーム天寿園青葉(地域密着型特養)
特別養護老人ホーム天寿園NeO(地域密着型特養)
指定居宅サービス事業所
・天寿園ショートステイふれんど
・天寿園デイサービスセンター
・認知症対応型デイサービス今町ホーム
・ホームヘルパーステーション天寿園
・グループホーム虹の家
・小規模多機能型居宅介護事業所 銀座通りハウス
天寿園在宅サービスセンター(居宅介護支援)
ケアハウス宝光庵
受託事業：熊本市南5地域包括支援センターささえりあ天明

特定非営利活動法人 熊本県骨バンク協会(事務局)

開設年月日 平成17年6月8日

管理者 理 事 長：宮本 健史
組織管理者：中根 惟武

基本理念 熊本県骨バンク協会は、同種骨移植術を要する人々に対し、安心・安全な同種骨を安定的に供給し、人々の健康及び移植医療の発展に寄与します

NPO法人 健康と幸せの会

開設年月日 平成21年10月22日

管理者 理 事 長：西 哲司
副 理 事 長：米満 弘之

基本理念 熊本市北部地域を中心とした市民全般に対して、健康を幅広く捉え、医療・保健・福祉・文化面に至るまでの各分野の専門家による講演会開催事業を行い、市民のより健康で幸せな生活づくりに寄与することを目的とする

特定非営利活動法人 ソーシャルインクルージョン研究センター

開設年月日 平成24年6月1日

管理者 理 事 長：米満 弘之

基本理念 社会や家族から独立し排除、差別されている人々(障がい者・高齢者・刑余者・貧困層等)に対して健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支えあうための社会福祉の実現に寄与することを目的とする

標榜科目・外来表・各センター等について

- 標榜科目
- 整形外科 / 形成外科 / 小児形成外科 / 脳神経内科
リハビリテーション科 / 循環器内科 / 救急科
脳神経外科 / 血管外科 / 麻酔科 / 放射線科 / リウマチ科 / 内科
外 科 / 皮膚科 / 消化器外科 / 耳鼻咽喉科 / 小児科

外来表（2024年8月1日現在） ※は予約制です ※1は第5週のみ休診 ※2は第4週のみ休診

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
救急総合外来	●	●	●	●	●	●※1	●	●	●	●
形成外科	●	●	●	●	●	●	●	● ネイルケア外来 13:30～15:30	●	●
皮膚科	—	●※ 13:00～15:00	●※	●※ 13:00～15:00	—	●※ 13:00～15:00	●※	●※ 13:00～15:00	—	—
消化器外科	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
外 科	—	—	—	—	●	●※2	—	—	—	—
脳神経内科・ リハビリテーション科・ 内科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
脳神経外科	—	—	●※	—	●※	—	●※	—	—	—
循環器内科	●	● 13:00～15:00	●	●※ 禁煙外来 13:00～15:00	●	●	●	● 13:00～15:00	●	●
リウマチ科	●	—	●	—	—	—	●	—	●	—
血管外科	●	—	●	—	—	—	●	—	●	—
耳鼻咽喉科	●	● 13:00～14:00 15:00～16:00	●※	●※	●※	● 13:00～14:00 15:00～16:00	●※	●※	●	●
小児科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●※ 小児発達外来

外来受付時間 / 午前 8:30～11:00 午後 13:00～16:00 休診 土曜・日曜・祝日・年末年始

救急センターは24時間対応

救急・特殊センター

- ・救急センター
・農業外傷センター
・循環器センター
・国際口唇口蓋裂センター
・神経生理センター
・神経難病センター
・人工関節センター
- ・切断指肢再接着センター
・四肢外傷センター
・総合血管センター
・アノマリーセンター
・地域医療連携 画像診断センター
・スポーツ外傷センター
・骨粗しょう症センター

受託事業

- ・熊本市北3地域包括支援センター
（熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平）
・熊本地域リハビリテーション広域支援センター

附設・併設施設

- ・熊本加齢医学研究所
・地域交流館

当院の患者さんや家族の方々の会

- ・唇裂口蓋裂 親の会「あじさいの会」
・パーキンソン病 友の会「楽友会」
・骨粗しょう症 患者の会

地域の方々の会

- ・NPO法人 健康と幸せの会

当院にてご利用いただける共同利用型検査

画像診断センター

共同利用の流れ

①ご予約

外来
予約センター | 096-345-8195
受付時間/8:30～17:00(月～金)

24時間オンライン予約システム ※登録済みの方のみ
C@RNA Connect

②紹介状

当院ホームページtop→医療連携→画像診断
断のご依頼に掲載の「画像診断センター共同
利用依頼書兼診療情報提供書」をご活用
ください。
※造影検査をご希望の際は、同ページのCT・MRI
造影検査に関する説明もご参照ください。



③予約日

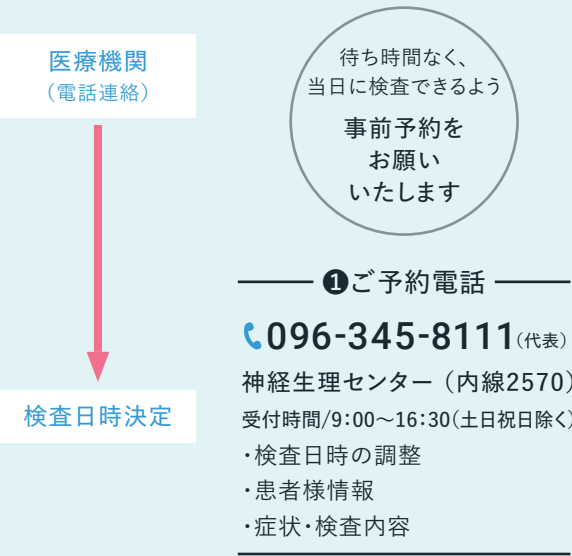
患者さんご自身で当院受付にお越しください
(利用依頼書／情報提供書をご持参ください)

④検査施行

+レポート作成
+画像CDROM作成
患者さんに当日お渡し
※紹介医へ郵送する場合があります。

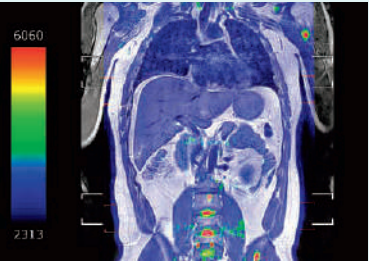
神経生理センター

ご予約の流れ



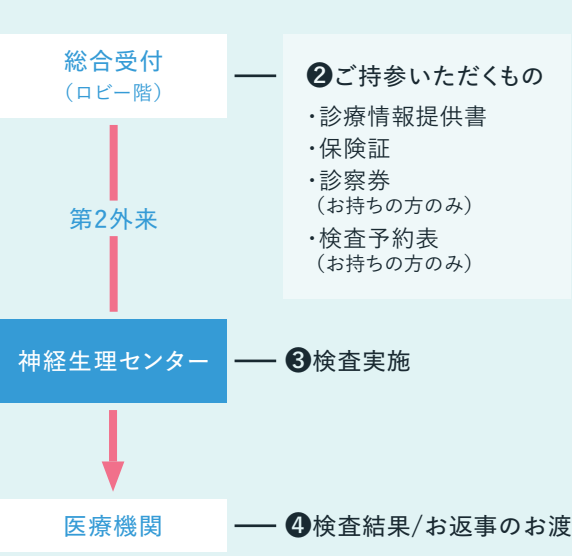
検査項目

- CT、MRI
- 頭部MRI VSRAD
頭部MRI画像を使用して脳の萎縮度を見る検査です。
アルツハイマー型認知症診断の早期診断に有用です。
50歳以上の方が対象です。
- 体幹部DWI(MRI)
腫瘍マーカーやエコー、CTなどでがんを疑う場合や、
がんの既往がある患者さんのフォローアップなどでほ
ぼ全身を一度でチェックします。PET-CTと類似の画像
を注射なし、絶食なし、待機時間なしで提供できます。
- 骨密度検査
腰椎・大腿骨：DXA法



体幹部DWI
(DWIBS法)

予約された検査日



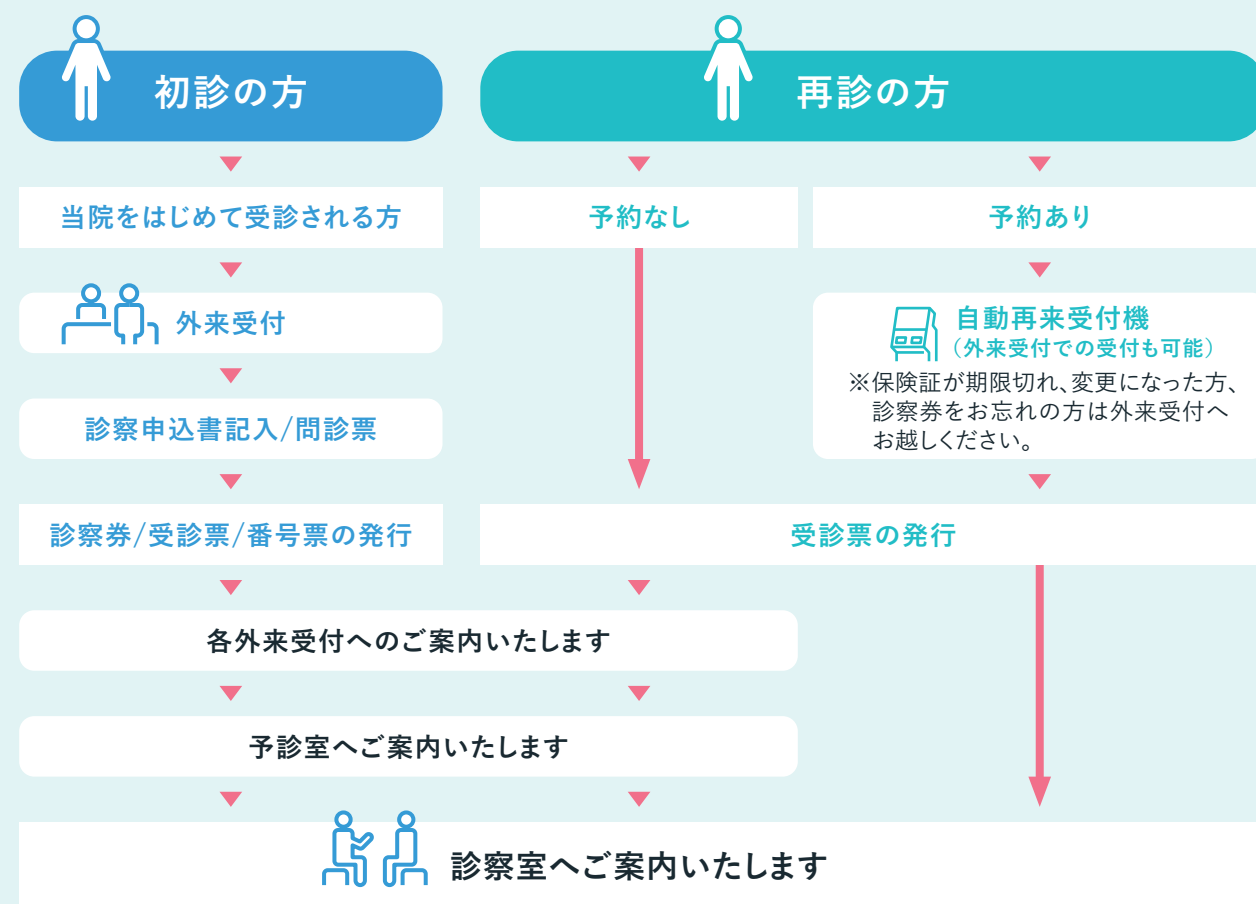
検査の詳細は P46・47へ



OUTPATIENT PROCEDURE

外来受診のご案内

受診申し込みからの流れについてまとめています。
受付は8時30分から開始します。



TRANSFER

転院について

当院では急性期一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、
地域包括ケア病棟等があり、転院を随時受け付けております。

私たちが担当いたします



前方連携担当看護師

お問い合わせ

熊本機能病院 **096-345-8111** (代表)

電話交換に繋がりますので、ご用件をお伝えください。
※時間外(平日17時以降、土曜・日曜・祝日)は、救急受付にお電話が繋がります。

医師からのご紹介

担当医師が直接お伺いします

医師及び医師以外からのご紹介

医療連携部がお手伝いします



MAIN ACTIVITIES

令和5年度主な活動

4月1日	●令和5年度 寿量グループ入社式
4月8日	●なないろ森の保育園 入園式
4月20日・28日	●BSCスプリングレビュー
4月21日	●健康と幸せの会 対面セミナー再開
4月27日	●スペシャルオリンピックス 募金用自動販売機設置協定締結
5月12日	●看護の日 イベント
5月24日	●寿量パーク壁画完成
9月22日	●秋の健幸祭
10月19日・27日	●BSCオータムレビュー
12月1日・8日	●第76回 看護介護福祉研究発表会
12月29日	●寿量グループ 大忘年会
1月5日～10日	●能登半島地震(JRAT日本災害リハビリテーション支援協会) 詳細は ▶▶ P15 へ
1月11日～13日	●能登半島地震(JMAT日本医師会災害医療チーム) 詳細は ▶▶ P15 へ
2月12日～14日	●能登半島地震(JMAT日本医師会災害医療チーム) 詳細は ▶▶ P15 へ
2月29日	●医療と運動、そしてウェルビーイング ～なぜ運動すると長生きできるのか～(講演)
3月1日	●春の院内コンサート/ ●熊本北消防署合同総合消防訓練
3月8日・9日	●回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会in熊本 詳細は ▶▶ P16・17 へ
3月23日	●なないろ森の保育園 卒園式
3月25日	●総合リハ大賞2023「第3回 総合リハビリテーションセンター院内研究発表会」
3月30日	●おじゃましますコンサート

COMMENDATION

令和5年度表彰

熊本機能病院 古川 由美子
口腔リハ課/訪問歯科連携センター



主 催	熊本県健康づくり県民会議
部 門	【禁煙、歯と口腔のケア部門】
表彰名	『令和5年度熊本県健康づくり県民会議表彰』

当院では、地域への健康活動として、小中学校への禁煙授業の実施、併設の健康増進施設での健康教室、地域住民へのセミナーなどを行っています。

また、特に歯科衛生士が入院患者さんに対し、積極的に口腔ケアを実施し、摂食嚥下や栄養サポート等のチーム医療の一員としても活動しています。2014年4月から熊本県歯科医師会と連携して熊本県医科歯科病診連携事業を開始しており、むし歯治療や入れ歯の調整等を行い、退院後も切れ目なく口腔健康管理が受けられるよう、地域の歯科診療所と連携しています。

今後も、歯と口腔のケアに対する基盤の構築のみならず、ハイリスク・ポピュレーションアプローチを融合させ、県民の健康づくりに貢献していきたいと思います。

MOST VALUABLE TEAM

令和5年度月間MVT受賞チーム

平成25年度より継続して、法人内における様々な活動を取り上げ表彰する「月間MVT表彰」を行っています。各種表彰や資格取得など、対外的に評価されるものに限らず、法人内におけるサービス向上を目的とした取り組み、その他のボランティア活動やサークル活動まで、幅広く対象としています。

毎月の受賞チームは、各部署からの推薦状を受け、幹部会議で決定されます。表彰を行うことで、普段関わることの少ない部署の取り組みや努力を知る機会を作ることを目的としており、受賞チームには記念の盾が授与されます。



/ 記念の盾 /



/ 心電図検定勉強会チーム /



/ 訪問リハビリテーションセンター清雅苑チーム /

6 月 心電図検定勉強会チーム

医師が講師となり、毎週決まった時間にZOOMで心電図勉強会を開催。病棟全体の心電図への理解が深まり、業務の質の向上に繋がっています。

11 月 来院者転倒防止対策チーム(事務部)

転倒防止のために玄関入口に事務職員が交代で立ち、誘導することにより転倒が0件になりました。

7 月 訪問リハビリテーションセンター 清雅苑

5月27日、28日に愛知県名古屋市中で開催された第22回日本訪問リハビリテーション協会学術大会において、LIFEを活用した取組みについての発表を行い、優秀賞に選出されました。

12 月 骨粗鬆症対策チーム

2015年度から骨折予防を目的として骨粗鬆症の患者さんに対し、骨折リスクの評価、治療への介入、職員も含めた教育の取組みを始めました。

9 月 禁煙外来チーム

第134回日本循環器学会九州地方会において、取り組みを発表し優秀賞を受賞しました。

2 月 神経生理センターチーム

日頃の実績が評価され、福岡で開催された第60回日本臨床検査神経生理学会で90分の実技講習会(ハンズオンセミナー)を担当。舞台上でノイズ対策等を講じながら、各機器の操作・手技開設を行いました。

10 月 院内専門士複数コース認定者

専門的知識を深めようと始まった院内専門士で複数のコースで認定された受講者の方々が表彰されました。

3 月 訪問歯科連携センターチーム

入院中から退院後まで歯科衛生士が介入し地域のかかりつけ歯科と連携、治療継続できる仕組み作りを行ってきました。

※都合により、4月、5月、8月、1月の表彰はありません。

BRIGHT COMPANY

ブライト企業（R5年度認定：継続 / H29年度初回認定）

ブライト企業とは、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を『ブライト企業』として認定し、その優れた取組みを広く周知することにより、県全体の労働環境や処遇の向上を図るとともに、若者の県内就職を促進します。

基本的な要件

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている



/ 2023年度ガイドブック /



/ ブライト企業認定書 /

HUMAN RIGHTS MONTH

熊本県人権月間PRサポーター

熊本県SDGs登録事業者向けに熊本県人権月間PRサポーターの募集が届き、当院でも応募しました。

玄関に熊本県人権PRサポーターのステッカーを、外来へ向かう通路にはポスター掲示をいたしました。

チラシは、地域交流館のテーブルに設置する以外にも、職員にも配布し、広く周知するように努めました。



/ 玄関の目線の箇所にステッカーを配置 /



/ 人通りの多い通路にポスター掲示 /



/ 地域交流館のテーブルの下にチラシ /



HOSPITAL TOUR

病院見学受け入れ

コロナウイルス感染症流行期間中は見学の受け入れを一時中止しておりましたが、令和5年度からは国内外問わず様々な団体の見学、実習の受け入れを行っております。

今年度は感染症対策を行いながら7団体を受け入れました。



日時/場所 6月6日 熊本機能病院

団体名 コンケン大学(タイ) 6名



日時/場所 7月4日 熊本機能病院

団体名 大邱大学(韓国) 32名



日時/場所 7月5日 清雅苑

団体名 亜細亜大学(台湾) 26名



日時/場所 7月12～13日 薬剤部

団体名 カーティン大学(オーストラリア) 2名



日時/場所 12月11日 清雅苑・ホームケアサポートセンター

団体名 順天郷大学校(韓国) 25名

その他 国内より2団体

7月28日 医療法人芙蓉会 村上病院(青森県) 5名
12月25日 医療法人聖峰会 田主丸中央病院(福岡県) 3名

ライトアップを通じて社会運動への支援や
賛同の意思を発信する活動

「アウェアネスカラー ライトアップ」の取り組み

GREEN LIGHT-UP Project

10月13日～16日

ライトの緑色は成長と新しいいのちを意味し、
“Gift of life”(いのちの贈りもの)によって結ば
れたドナー(臓器提供者)と移植が必要な患者
さん(レシピエント)のいのちのつながりが表現
されています。

この光には、ドナーへの感謝に加え、移植を待
つ人たち、移植医療を支える医療者等へのエー
ルの意味も込められています。



公益社団法人日本脳卒中協会
一般社団法人日本不整脈心電学会

『脈の日』

3月9日

血液の色をイメージした赤色にライトアップ
することで、国民に心房細動の症状、脳梗塞の
危険性と医学的管理による脳梗塞予防の必要
性を広く知らせることにより、心房細動からの脳
梗塞を予防することを呼びかけています。

この取り組みは、心房細動などの不整脈の早
期発見のため、日常的な自己検脈の習慣が定
着することを目指しています。



令和6年能登半島地震 災害支援

1月5日～10日 JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)
理学療法士:三宮克彦・田中康則
(活動地:石川県庁、金沢医大)

東日本大震災、熊本地震での経験を活かし、本部の立ち
上げと組織、支援スキームの確立等を行いました。

1月11日～13日 JMAT(日本医師会災害医療チーム)
医師:米満弘一郎/看護師:柳川弘樹・松田文/
事務員:石本敬晃 (活動地:石川県志賀町)

2月12日～14日 JMAT(日本医師会災害医療チーム)
医師:米満弘一郎/看護師:宮城恵子・水谷友美/
事務員:石本敬晃 (活動地:石川県志賀町)

熊本市医師会救急・災害医療担当として、志賀町の
町立富来病院の診療補助や避難所診療を行いました。



/ 避難所のゾーニング、回診 /



/ 志賀町 町立富来病院 /

回復期リハビリテーション 病棟協会

第43回研究大会in熊本

令和6年3月8日(金)-9日(土)

大会長 渡邊進(熊本機能病院副院長)
名誉大会長 米満弘之(熊本機能病院会長)
米満弘一郎(熊本機能病院理事長)
会場 熊本城ホール
テーマ 「燈々無尽(とうとうむじん)」
発表 768演題
参加者数 2,373名



MAIN PROGRAM

主なプログラム

基調講演	●回復期リハビリ病棟の進化とこれから ●燈々無尽～先人からの想いを引き継ごう～
特別講演	●回復期リハビリ病棟におけるニューロリハビリの展開 ●回復期における活動向上戦略 ●脳卒中片麻痺に対する促通反復療法と併用療法の実際 ●義肢装具領域の進歩と未来 ●DX(デジタルトランスフォーメーション)が創るリハビリテーション医療の未来 ●回復期脳卒中リハでのADL等の着目ポイント ●令和6年度診療報酬改定 ●令和時代の脳卒中診療～脳卒中・心臓病等総合支援センター事業を中心に～
教育講演	●やろうぜ臨床研究～回復期リハビリにおける臨床研究とエビデンスの創出～ ●多職種チームのためのコミュニケーション ●失語症者向け意思疎通支援事業をご存知ですか?～支援者の養成から派遣まで～ ●回復期病棟だからできる!頸・脊髄損傷のリハビリテーション ●認知症の取り組み/特定行為を基盤としたユマニチュード®を取り入れた看護 ●回復期リハビリ病棟におけるこれからの生活の再構築と自立支援 ●機能・活動・参加を高める薬剤マネジメント ●回復期リハビリ病棟における痙縮の治療戦略 ●健康未来社会における歩行リハビリの役割～リハロボット、介護ロボットの将来像～ ●病院機能評価(高度・専門機能)から得る視点 ●回復期リハ病棟における介護福祉士の専門性～これまでの介護・これからの介護～
シンポジウム	●チームの結束力!回復期リハビリ病棟を支える病棟マネジメント ●地域へつなげる!就労支援～退院時支援から地域支援体制の実際～ ●スペシャルトピックス!リハビリテーション・口腔・栄養の三位一体
チャレンジ企画	●みんなでススム!チームカンファレンス～認知症高齢整形患者事例～
特別企画	●匠の伝承:嚥下障害はどのように管理するか?～評価、治療方針、ゴール～
緊急特別企画	●令和6年能登半島地震に対するリハビリテーション支援の現状報告

院内研修

01. 管理職研修

令和4年～令和5年度にかけて、管理者（部門長、課長以上の役職者）を対象に院内研修を行いました。講義内容を主にコーチングとし、外部から講師を招き、隔月全6回開催いたしました。

令和4・5年度『管理職研修』講義内容

【講義の目的】組織運営のための管理能力を向上させる

回	日時	テーマ	講師	目的・内容
第1回	2022年11月17日(木) 17時半～19時半 南館 大ホール	セルフコーチングとコーポレートコーチング(1)	元田 先生	組織の中で最高のパフォーマンスを発揮するために必要なマインドを学ぶ。最新の認知心理学に基づく、心のしくみと働きを理解してゴールを設定する。セルフワークとコーポレートワークをマネジメントして、チームのパフォーマンスを上げるための環境づくりを学ぶ。
第2回	2023年1月27日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	セルフコーチングとコーポレートコーチング(2)	元田 先生	組織の管理に携わるすべての人が最高の病院になることを決意する。現状を知り、あるべき姿との差を明確にして、ゴール側の臨場感を高め、組織としてのセルフイメージを構築してゴールに向かう推進力を高める。
第3回	2023年3月24日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	チームコーチング(1)	元田 先生	チームメンバーを育成するためのコーチング力を身につける。メンバーのパフォーマンス別、1on1ミーティングの効果的な実施スキルを学ぶ。(パフォーマンス別個人面談の方法など)
第4回	2023年5月26日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	チームコーチング(2)	元田 先生	コーチング実習を行い、コーポレート内でのコーチングスキルを体得する。コーポレートを構築するメンバーのタイプを知り、タイプ別のマネジメント方法を学ぶ。参加者同士でコーチングを行うことにより、実現力を高める。
第5回	2023年8月17日(木) 17時半～19時半 (7/28より変更) 南館 大ホール	チームコーチング(3)	元田 先生	ケーススタディやロールプレイングをとおして、実践力を高める。
第6回	2023年9月22日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	リーダーシップについて	元田 先生	強く・しなやかなチームをつくるためのリーダーとしての基本のノウハウを学ぶ。



/ 研修の様子 /



/ 研修終了後の集合写真 /

02. 令和塾

令和塾とは、次世代の若手リーダーを育成すべく、令和元年よりスタートした院内研修です。リーダーに必要なヒューマンスキルや、問題解決能力を身につけることを講義内容としております。研修内容は毎期終了後に精査し、次の研修スケジュールを作成します。第3期では最も要望の多かったコーチングを主とした講義内容としました。

令和5年度で第3期開催となりました

令和4・5年度 第3期『令和塾』講義内容

【講義の目的】若手リーダー育成のために必要なことを身につける

回	日時	テーマ	講師	目的・内容
第1回	2022年8月26日(金) 17時半～19時半 ZOOM	はじめに ～アイスブレイキング～	米満理事長	成長を楽しむために何が必要か？
第2回	2022年10月21日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	セルフコーチングの基礎	元田 先生	人は成長、変化、創造性において多くの可能性を持ち、時代のどのような変化にも順応できるという前提に基づき、脳科学と認知心理学をベースにした人間のマインドの働きと行動の関係性を学び、ゴールを設定するスキルと達成へ向かう思考と行動の基礎を身につける。
第3回	2023年2月17日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	セルフコーチングの活用 コーチング基礎編	元田 先生	ゴールの映像が心の中で支配的な映像になるためのいくつかのスキルを学ぶ。組織の中で効果的なコミュニケーションをとることができ、自分だけでなく周囲の自尊心(エフィカシー、セルフエスティーム)を上げるための基礎的な技術を学ぶ。
第4回	2023年4月14日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	コーチング実習編	元田 先生	コーチングスキルの習得。「傾聴」「質問」「承認」の3つの基本スキルを学ぶ。傾聴の練習、質問の練習、ほめる、叱る練習をとおして、コーチとクライアントの双方のコミュニケーションの実習を行う。
第5回	2023年6月23日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	コーチング実践編	元田 先生	いくつかのコーチングフローを学びロールプレイをとおして、コーチングを体感する。ケーススタディなどをとおして、今まで学習したことを振り返る。学習のまとめ。
第6回	2023年8月25日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	まとめ・発表	米満理事長	理事長総評 受講生による発表



/ 研修の様子 /



/ 研修終了後の集合写真 /

令和5年度医療実績

診療科別患者数・紹介率

	外来(人)		紹介率(%) (救急車含)	入院(人) 年合計
	新患(年合計)	再診(年合計)		
整形外科	9,101	52,005	25.1	2,238
形成外科・小児形成外科	1,337	8,614	53.4	342
脳神経内科・リハビリテーション科・内科	1,427	11,763	67.6	427
循環器内科	422	9,597	76.0	218
血管外科	217	1,337	56.7	84
脳神経外科	103	3,765	34.2	140
リウマチ科	10	1,176	20.8	—
救急科・外科	1,940	6,095	37.1	476
皮膚科	85	780	42.5	—
消化器外科	2,658	393	34.3	9
耳鼻咽喉科	704	2,658	64.9	14
小児科	10	182	29.2	—
合計	18,014	98,365	(平均)34.5	3,948

一日平均
入院数

337人

一日平均
外来数

477人

病床稼働率(年間平均)

一般病棟

89.8%

回復期病棟

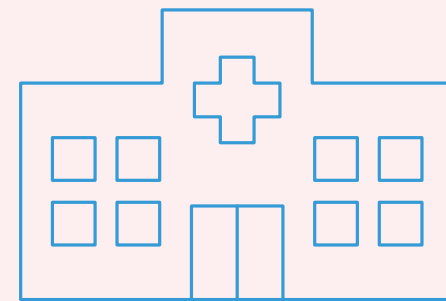
89.8%

地域包括ケア病棟

92.1%

障害者施設病棟

93.2%



令和5年度医療実績

病棟種別 入院・退院経路

入院の経路

	入院病棟				全 体
	一般病棟	地域包括 ケア病棟	回復期 リハビリテーション病棟	障害者施設等 一般病棟	
外来より	2,048	308	47	170	2,573
救急外来より	478	26	19	50	573
転院	172	54	363	30	619
清雅苑より	11	0	1	3	15
その他の老健や施設より	122	3	3	32	160
合計	2,831	391	433	285	3,940

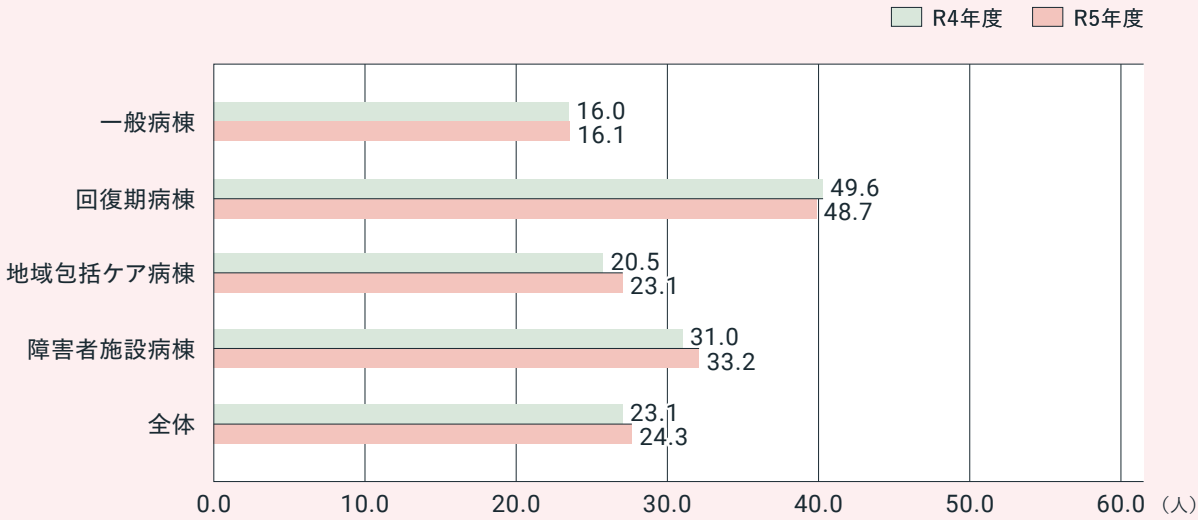


合計 3,940人

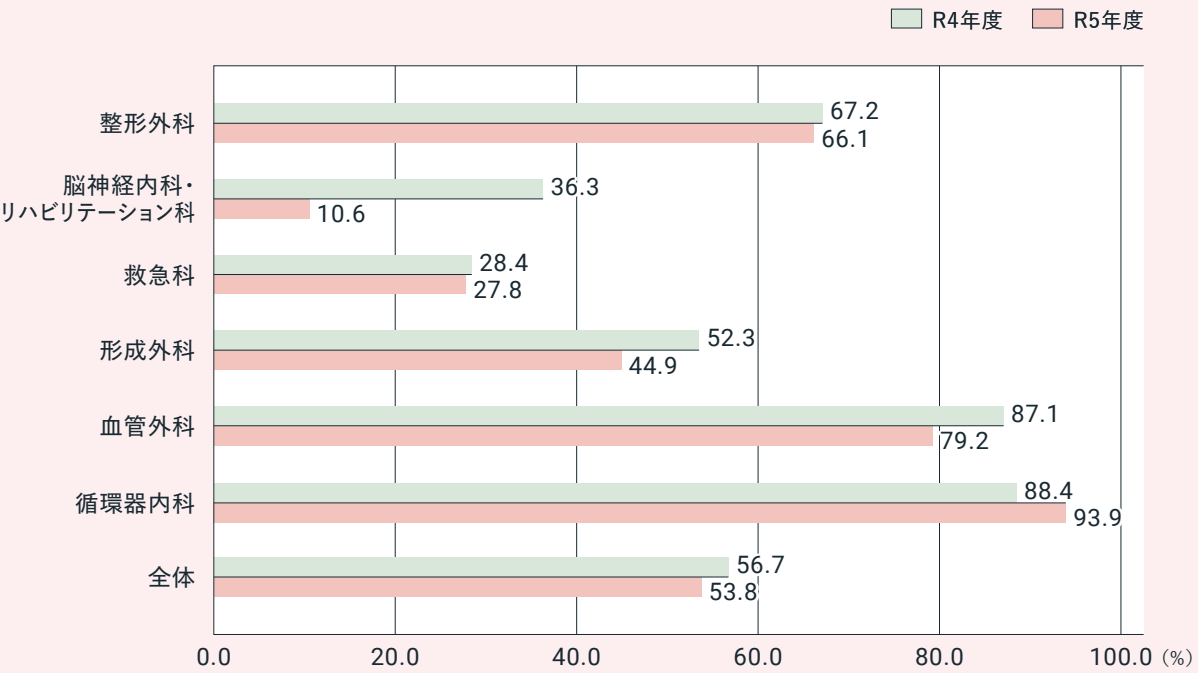
退院の経路

	退院病棟				全 体
	一般病棟	地域包括 ケア病棟	回復期 リハビリテーション病棟	障害者施設等 一般病棟	
在宅(外来-当院)	1,723	693	556	180	3,152
在宅(外来-他院)	111	50	128	10	299
転院	80	15	41	29	165
施設入所	80	42	138	34	294
死亡	17	1	4	8	30
合計	2,011	801	867	261	3,940

平均在院日数



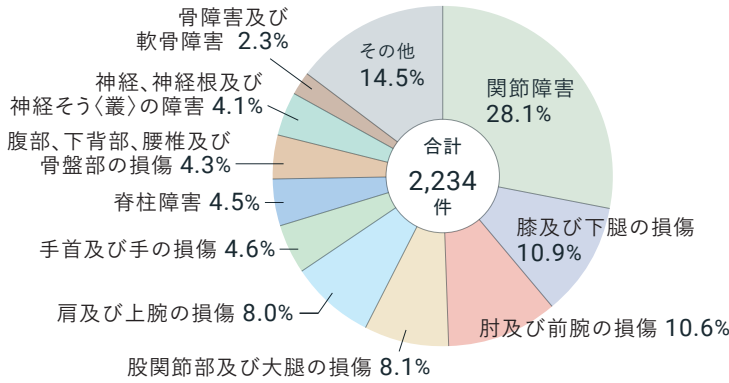
クリニカルパス運用率



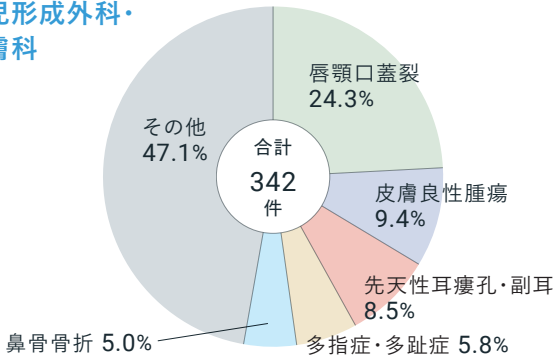
令和5年度医療実績

入院病名統計

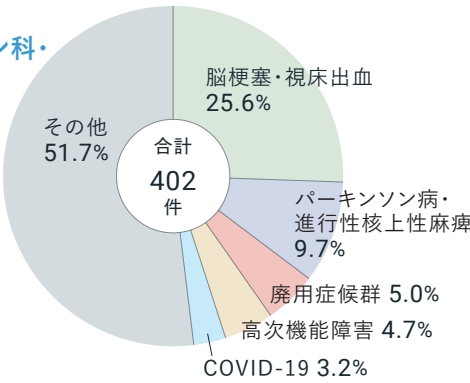
整形外科・
リウマチ科



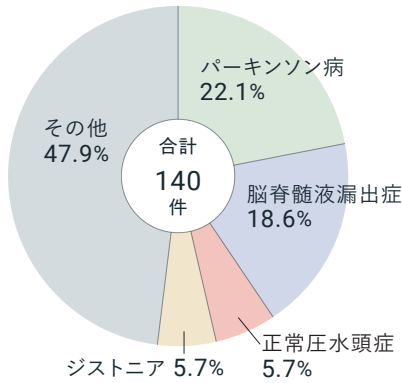
形成外科・
小児形成外科・
皮膚科



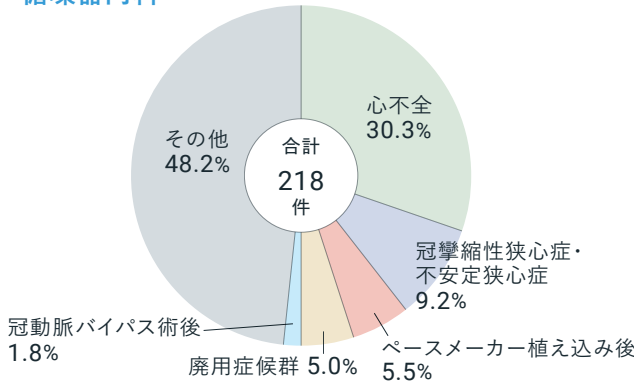
脳神経内科・
リハビリ
テーション科・
内科



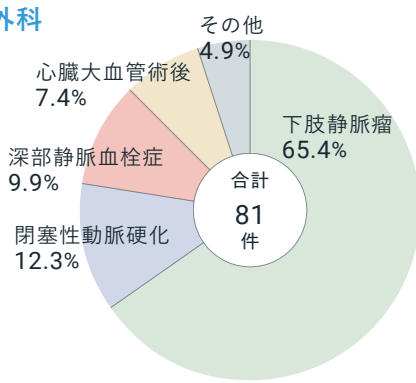
脳神経外科



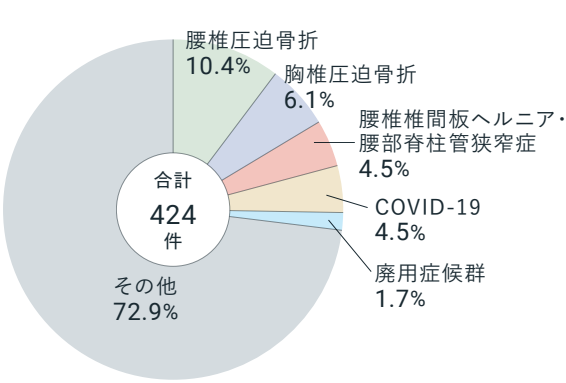
循環器内科



血管外科



救急科



入院時紹介元施設 患者割合

	医療機関	患者数	R5	R4
1	国立病院機構熊本医療センター	174	10.0%	7.9%
2	熊本赤十字病院	147	8.4%	9.5%
3	熊本大学病院	128	7.3%	6.8%
4	済生会熊本病院	62	3.6%	3.3%
5	たぐち整形外科クリニック	53	3.0%	3.5%
6	森田整形外科医院	40	2.3%	2.0%
7	なががわ整形	29	1.7%	0.7%
8	岩本整形外科	24	1.4%	1.1%
9	熊本市民病院	19	1.1%	1.2%
10	かみくまクリニック(やん胃腸科外科医院)	18	1.0%	0.3%
10	熊本中央病院	18	1.0%	1.5%
10	有明海リハビリテーションクリニック	18	1.0%	0.5%
13	城間クリニック	15	0.9%	0.5%
13	植木病院	15	0.9%	0.1%
13	清雅苑	15	0.9%	0.7%
16	福田病院(新町)	14	0.8%	0.7%

退院時紹介先施設 患者割合

	医療機関	患者数	R5	R4
1	清雅苑	61	9.0%	7.8%
2	熊本赤十字病院	32	4.7%	2.4%
3	国立病院機構熊本医療センター	30	4.4%	5.1%
4	熊本大学病院	29	4.3%	4.1%
5	北部病院	13	1.9%	1.1%
6	菊南病院	12	1.8%	1.4%
7	済生会熊本病院	10	1.5%	1.1%
8	たぐち整形外科クリニック	8	1.2%	-
8	むべの里	8	1.2%	0.8%
10	武蔵ヶ丘病院	7	1.0%	1.0%
11	くまもと成城病院	6	0.9%	1.1%
11	ココファン麻生田	6	0.9%	0.8%
11	熊本地域医療センター	6	0.9%	0.3%
11	桜の里	6	0.9%	0.5%

	医療機関	患者数	R5	R4
16	あさはら整形外科	13	0.7%	0.5%
16	せんだメディカルクリニック	13	0.7%	0.8%
16	たつだ整形外科	13	0.7%	0.3%
20	アラキ整形外科	12	0.7%	0.7%
20	くまもと県北病院	12	0.7%	0.4%
20	佐賀大学医学部附属病院	12	0.7%	0.5%
20	山鹿市民医療センター	12	0.7%	0.5%
24	みずの内科・血圧心臓クリニック	11	0.6%	0.8%
24	熊本整形外科病院	11	0.6%	0.5%
24	寺尾病院	11	0.6%	0.6%
27	熊本セントラル病院	10	0.6%	0.5%
27	山鹿中央病院	10	0.6%	0.4%
27	川口病院	10	0.6%	0.4%
27	朝日野総合病院	10	0.6%	0.3%
27	藤原クリニック	10	0.6%	0.7%

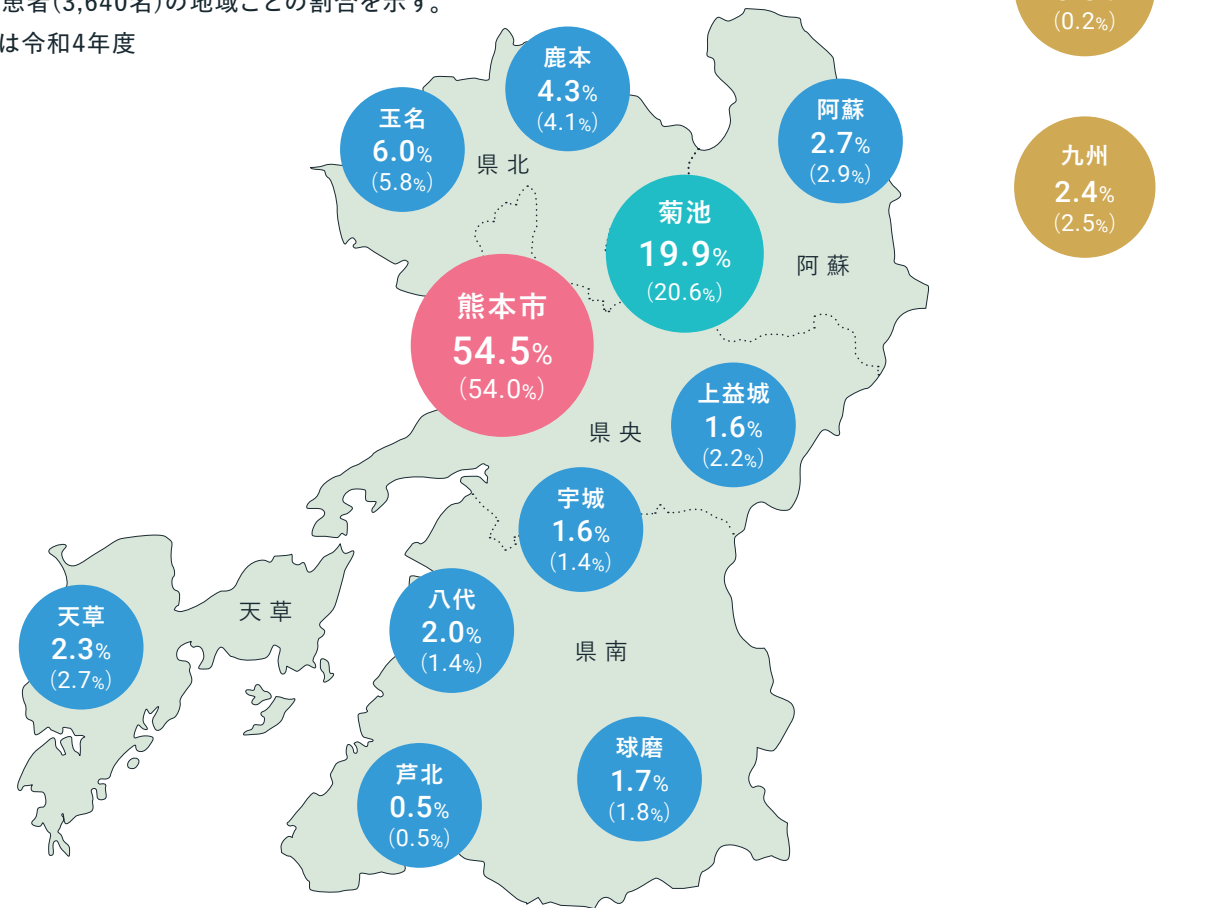
	医療機関	患者数	R5	R4
11	天寿園	6	0.9%	1.6%
11	八景水谷クリニック	6	0.9%	0.8%
17	ぎんなんの里	5	0.7%	0.2%
17	くわのみ荘	5	0.7%	0.5%
17	みずの内科・血圧心臓クリニック	5	0.7%	0.2%
17	メディケア癒やし京町台	5	0.7%	0.2%
17	阿房宮	5	0.7%	0.8%
22	宮本内科クリニック	4	0.6%	0.2%
22	寺尾病院	4	0.6%	0.2%
22	清水まんごくクリニック	4	0.6%	0.2%
22	青磁野リハビリテーション病院	4	0.6%	0.3%
22	中山記念病院	4	0.6%	1.4%
22	表参道吉田病院	4	0.6%	0.2%

令和5年度医療実績

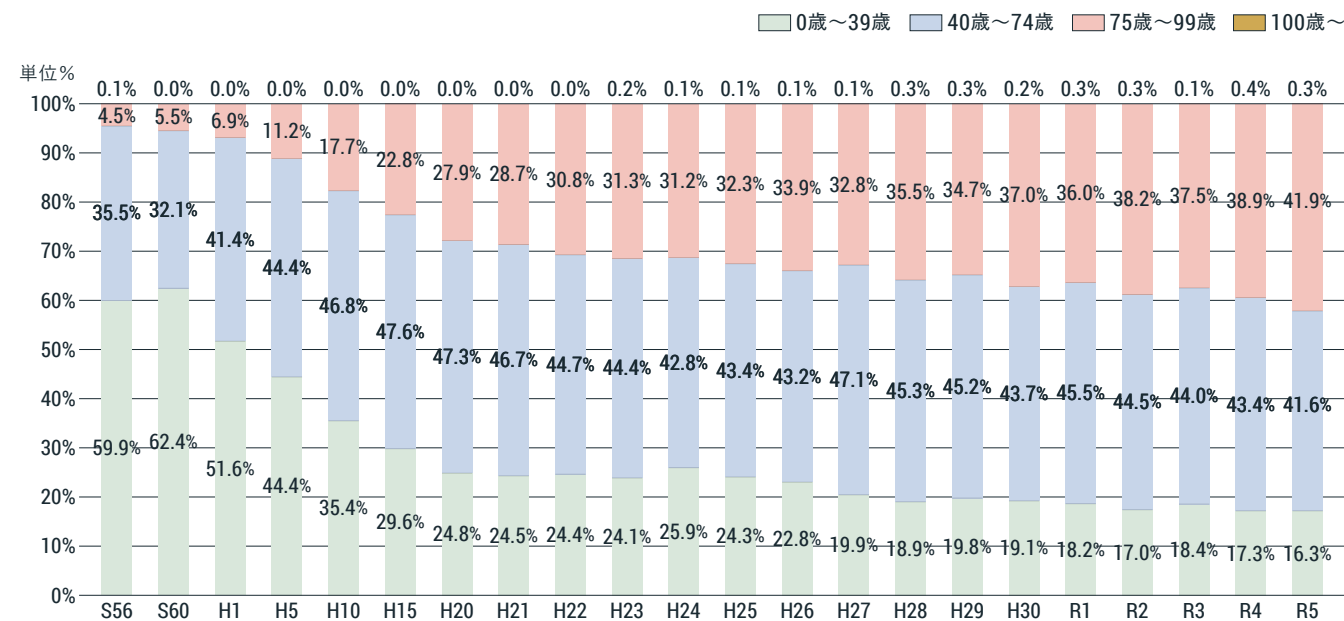
令和5年度 退院患者診療圏

退院患者(3,640名)の地域ごとの割合を示す。

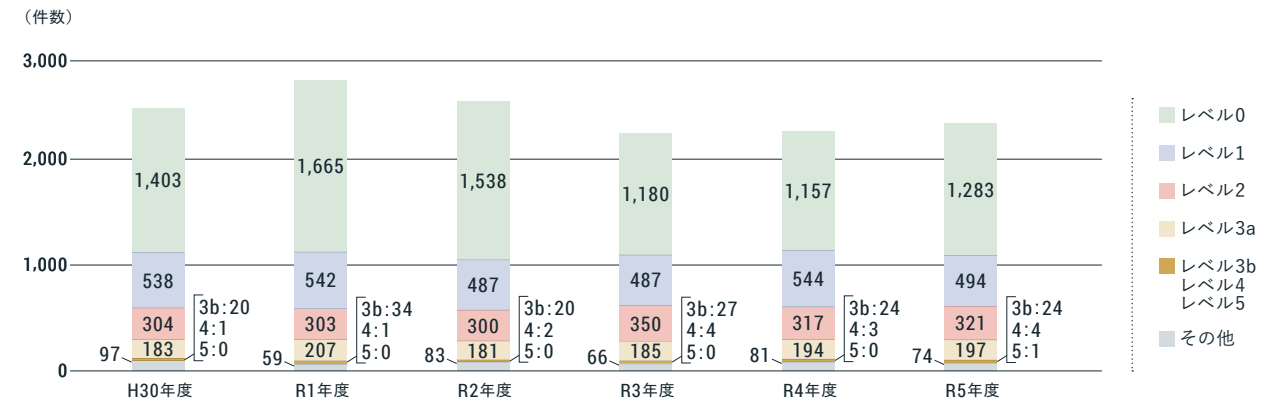
()は令和4年度



年度別 退院患者年齢層



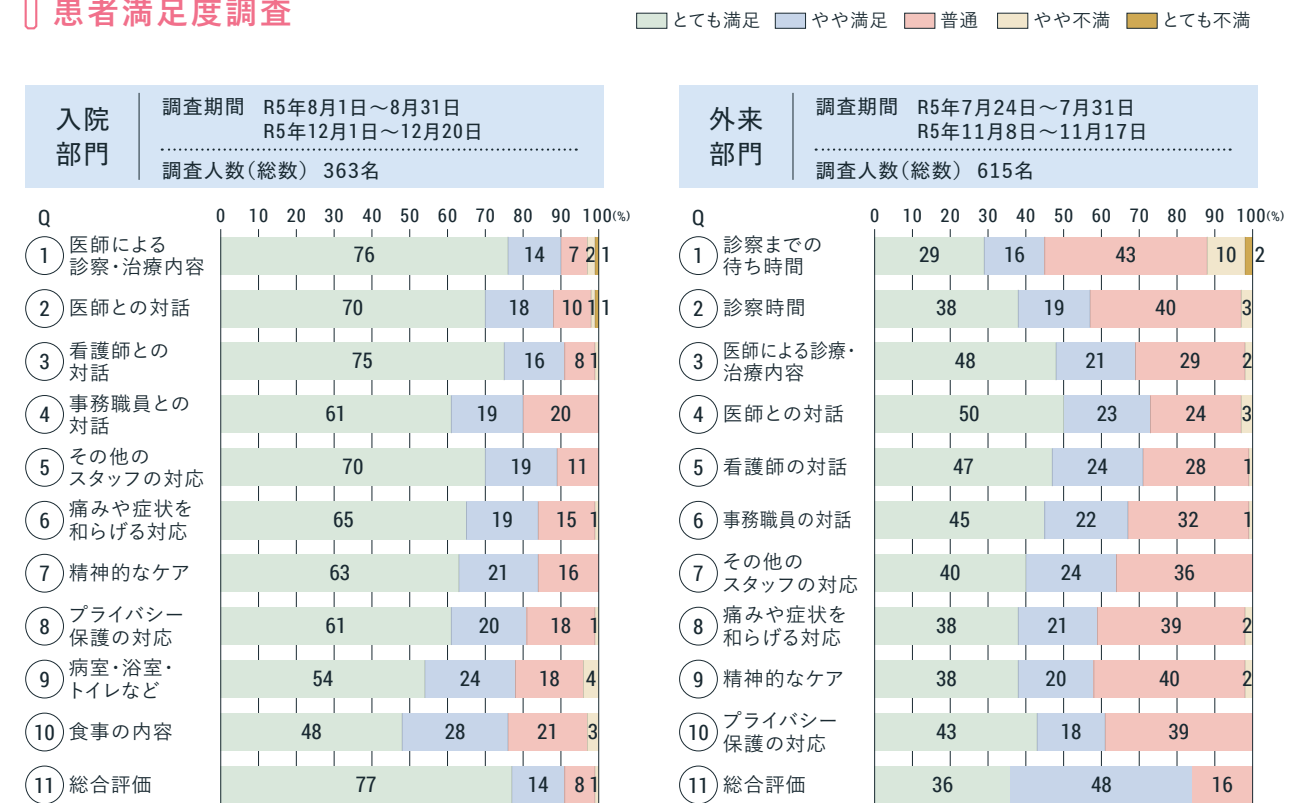
〇 インシデント・アクシデント報告状況



インシデント及びアクシデントの分類

分類	患者への影響度 (事故区分)	内 容
インシデント	レベル0 (ヒヤリハット)	仮に実施されていても患者への影響は小さかった(処理不要) 仮に実施されていた場合患者への影響は中等度(処置が必要) 仮に実施されていた場合患者への影響は大きい(生命に影響しうる)
	レベル1	実施されたが、患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベル2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
アクシデント	レベル3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
	レベル3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	レベル4	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	レベル5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
	その他	患者が関わらない事例

患者満足度調査



整形外科

専門性を活かして
診療に取り組む

整形外科では、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

特に人工股関節・膝関節、関節鏡を用いた手根管開放術、神経縫合を含むマイクロサージャリーなど専門性を生かした手術に取り組んでいます。また、救急外傷（指切断、開放骨折、大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、神経損傷）の患者さんへの対応にも力をいれています。

手術後もリハビリテーションを早期から開始し、チーム体制で退院後の患者さんのQOL（生活の質）向上に努めます。

リハビリの詳細は **P52** へ



外来患者数
(1日平均)

251人
(うち初診37人)



入院患者数
(1日平均)

184人



手術件数
(年間)

2,101件

○手術実績（上肢）

(件)

手術名	R4	R5
手根管開放術（直視下・鏡視下）	139	121
骨接合術 （橈骨遠位端・上腕骨近位端・ 肘関節周囲骨折）	139	179
腱鞘開放術	139	153
マイクロサージャリー （神経・血管）・再接着	10	15
肩関節鏡視下手術	29	35
肘部管開放術	15	26
肘・手関節鏡視下手術	9	3
その他	392	455
合計	872	987

○手術実績（下肢）

(件)

手術名	R4	R5
人工膝関節全置換術	295	303
人工膝関節単顆置換術	26	12
人工股関節置換術	269	272
膝関節鏡視下手術（半月板部分切除 含）	158	63
骨接合術（大腿骨転子部・大腿骨頸部）	96	78
人工骨頭置換術（大腿骨頸部骨折）	71	70
膝前十字靱帯再建術	19	29
人工股関節再置換術	5	7
人工膝関節再置換術	4	1
その他	269	247
合計	1,212	1,082

○手術実績（脊椎）

(件)

手術名	R4	R5
脊椎固定術	—	4
椎間板摘出術	—	6
椎弓切除	—	12
椎弓形成	1	4
その他	—	6
合計	1	32

Mako®による手術

膝関節

人工膝関節全置換術
303件の内

261件

人工膝関節単顆置換術
12件の内

12件

股関節

人工股関節置換術
272件の内

218件

当院では人工股関節置換術、
人工膝関節置換術で
手術支援ロボットが使用可能です

ロボティックアームの利点は？

「ぶれることがない」「正確に動く」「止まる」です。人工関節置換術で使用すると、事前に計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。

ロボティックアームは少しでも計画から外れた動きをすると停止します。身近なものに例えると、車の自動ブレーキのようなもので、治療計画にない動き、つまり、削ったり切除する必要のない部位にさしかかると停止する仕組みになっています。

ナビケーションシステムと合わせて使用することで、治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。



熊本県初
九州2例目

2020年1月7日より
ロボティックアーム「Mako®」を導入しています

2023年には「Mako®」による手術が1,700件を
こえ、年間で300例以上の手術で使用されて
います。

2020年1月7日～2024年3月31日までの
「Mako®」使用による手術実績 (件)

人工股関節置換術 (THA)	799
人工膝関節全置換術 (TKA)	853
人工膝関節単顆置換術 (UKA)	88
合計	1,740



ロボティックアームとは

コンピュータ制御された「機械の腕（アーム）」のことで、自動で動くものや人が操作して動かすものなどがあります。ロボティックアーム「Mako®」は医師が操作して動かすもので、傷んでいる骨を切除したり、人工関節の正確な設置をサポートします。

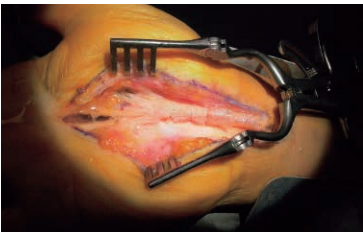


外傷や手術後神経断裂・神経損傷に対し、 神経再生誘導チューブ(人工神経)を用いた 神経再生誘導術を行っています。

開発時より携わっており、今まで多くの症例に用いてきました。
外傷等による末梢神経断裂、欠損部に導入して両断端に連続性を持たせ、
神経再生の誘導と機能再建を目的としており、新鮮・陳旧性は問いません。
知覚検査・エコー検査・神経伝導速度検査等を実施して手術適応を確定します。
神経再生誘導チューブは吸収性縫合糸に使用されているポリグリコール
酸(PGA)製で内面にはコラーゲンが充填されています。再建すべき中
枢側及び末梢側の神経をチューブ内に数ミリ挿入し、数カ所縫合固定して
再生を促します。チューブは約2~4か月後に体内で分解・吸収されます。
また、神経再生誘導チューブを用いることで自家神経移植や神経縫合後
に回復する過程で起こる不快な痛みやしびれが起こりにくいことがあげられ
ます。これにより、リハビリテーションもスムーズに行うことが可能です。



/ 神経再生誘導チューブ /



/ 神経再生誘導術後 /

医師紹介 / 整形外科

	名誉院長・診療統括顧問 中根 惟武 (昭和45年卒) NOBUTAKE NAKANE 専門分野 股関節・膝関節外科(人工関節・関節鏡視下手術) 老人骨折・骨粗鬆症	資格・学会等 特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事 日本整形外科学会[専門医] 日本人工関節学会[認定医] 日本リハビリテーション医学会[認定臨床医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	院長・切断指肢再接着センター長 中島 英親 (昭和46年卒) HIDECHIKA NAKASHIMA 専門分野 整形外科・形成外科・手外科 スポーツ外傷 / マイクロサージャリー分野	資格・学会等 日本マイクロサージャリー学会[名誉会員] 日本整形外科学会[専門医] 日本手外科学会[特別会員/専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	高橋 修一郎 (昭和50年卒) SHUICHIRO TAKAHASHI 専門分野 膝関節外科	資格・学会等 日本整形外科学会専門医/認定スポーツ医
	名誉副院長 重本 弘文 (昭和46年卒) HIROFUMI SHIGEMOTO 専門分野 リハビリテーション科 整形外科	資格・学会等 日本リハビリテーション医学会[専門医/認定臨床医] 日本整形外科学会[専門医] 臨床義肢装具適合判定講習修了医 回復期専従医講習修了医

	副院長・診療統括部長 寺本 憲市郎 (平成3年卒) KENICHIRO TERAMOTO 専門分野 手外科 機能再建外科(マイクロサージャリーを含む)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本手外科学会[代議員/指導医/専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 日本マイクロサージャリー学会[会員]
	理事長補佐・人工関節センター長 高橋 知幹 (平成9年卒) TOMOKI TAKAHASHI 専門分野 股関節・膝関節外科 / 人工関節置換術 骨切り術 / 関節鏡手術(靱帯再建・半月板縫合)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本人工関節学会[認定医] 日本組織移植学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
	関節外科部門長・骨粗しょう症センター長 清田 克彦 (平成7年卒) KATSUHIKO KIYOTA 専門分野 膝関節・股関節外科 骨粗鬆症 / 運動器疼痛	資格・学会等 特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会運営 委員会 個人情報管理責任者 日本整形外科学会[専門医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 日本組織移植学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	長井 卓志 (昭和60年卒) TAKUSHI NAGAI 専門分野 整形外科・手外科・スポーツ外傷 マイクロサージャリー分野	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定スポーツ医]
	久保田 晃志 (平成4年卒) KOJI KUBOTA 専門分野 関節外科 膝関節・股関節外科	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	高井 聖子 (平成17年卒) SEIKO TAKAI 専門分野 整形外科 リハビリテーション	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本リハビリテーション医学会[専門医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	高井 浩和 (平成19年卒) HIROKAZU TAKAI 専門分野 人工関節(膝関節・股関節) / 骨粗鬆症 下肢外傷(骨折など)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定リウマチ医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 日本人工関節学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]



医師紹介 / 整形外科



宮地 有理 (平成11年卒)
YURI MIYACHI

専門
分野 整形外科

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]
日本形成外科学会[専門医]
麻酔科標榜医



濱 紳悟 (平成24年卒)
SHINGO HAMA

専門
分野 整形外科

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]



杉原 祐介 (平成22年卒)
YUSUKE SUGIHARA

専門
分野 整形外科

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]

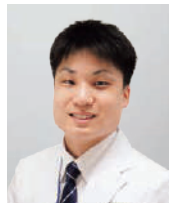


中村 良 (平成26年卒)
RYO NAKAMURA

専門
分野 整形外科

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]



宮崎 研丞 (平成31年卒)
KENSUKE MIYAZAKI

専門
分野 整形外科



城間 将人 (令和3年卒)
MASATO SHIROMA

専門
分野 整形外科



師井 良太 (令和3年卒)
RYOTA MOROI

専門
分野 整形外科

整形外科
非常勤医師

(※五十音順)

酒井 和裕
KAZUHIRO SAKAI

所属 健和会大手町病院

宮本 健史
TAKESHI MIYAMOTO

所属 熊本大学病院

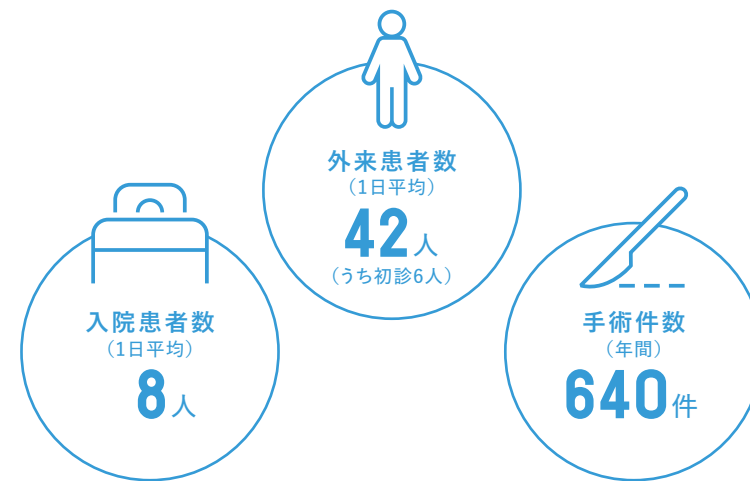
PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY

形成外科・小児形成外科

機能だけでなく、 見た目もより良い状態に

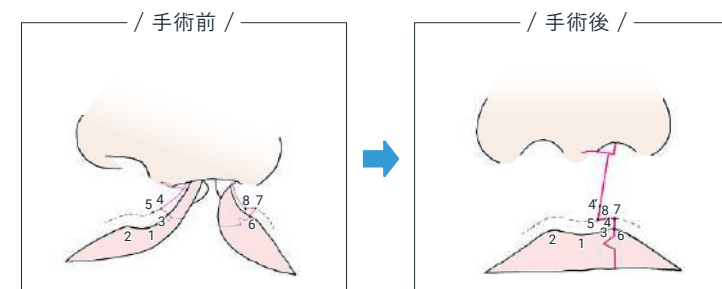
小児形成外科では口唇口蓋裂や多合指症等の先天性疾患に対して、地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

小児領域の治療を行う一方で、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例は、形成外科での治療によって、外見の改善だけでなく、術後に「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。



先天性疾患の中でも 症例数の多い 口唇口蓋裂

口唇裂という生まれつき開いている唇を、できるだけ自然な形にすることが、口唇裂の手術では大切なことです。上唇は富士山のように二山になっており、赤い唇に平行に上口唇溝という溝があり、また、人中という、鼻と唇の間に縦の溝があります。それらの特徴をできるだけ明瞭に再建するために、当院では下図のような四角弁法を開発し、より自然な唇を目指して手術に取り組んでいます。



口蓋裂では、手術後の成長過程で発音の誤りが生じることがあります。1歳半頃より言語聴覚士が経過を観察し、必要に応じてリハビリを行います。

○手術実績

(件)

手術名	R4	R5
皮膚皮下腫瘍摘出術	370	371
口唇口蓋裂形成術	98	95
多指(趾)症、合指(趾)症手術	28	33
眼瞼下垂症手術	13	10
瘢痕(拘縮)形成術	10	11
顔面骨骨折手術	16	20
副耳(介)切除術	21	21
先天性耳瘻管摘出術	11	11
褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術	18	10
耳介形成術	9	8
腋臭症手術(皮弁法)	6	8
その他	39	42
合計	639	640

医師紹介 / 形成外科・小児形成外科

	副院長・国際唇裂口蓋裂センター長 中国広西医科大学 客員教授 小藺 喜久夫（昭和51年卒） KIKUO KOZONO 専門分野 形成外科 小児形成外科	資格・学会等 日本形成外科学会[専門医/小児形成外科分野指導医/ 皮膚腫瘍外科指導医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 日本口蓋裂学会[認定師]
	田邊 毅（平成10年卒） TSUYOSHI TANABE 専門分野 先天異常・マイクロサージャリー 口唇口蓋裂	資格・学会等 日本形成外科[評議員/専門医/小児形成外科分野指導医/ 皮膚腫瘍外科指導専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	中西 いずみ（平成21年卒） IZUMI NAKANISHI 専門分野 形成外科一般 / 手指の先天異常 足潰瘍の治療 / 爪疾患	
	大塚 智文（令和4年卒） OTSUKA TOMOFUMI 専門分野 形成外科	

PEDIATRICS

小児科

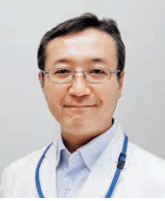


発達小児外来、
小児リハビリテーションを行います

当院の小児科では、主に15歳未満で言葉の発達の遅れがみられるお子さんを中心に、発音がはっきりしない（構音障害）、どもる・流ちょうに話すことができない（吃音症）、読み書きが苦手（読み書き障害）など言葉に苦手さを持つお子さんに対し言語聴覚士と協力してリハビリテーションを行っております。

● 診療日 / 金曜 午後（予約制）

医師紹介 / 小児科

	倉本 浩史（平成13年卒） HIROFUMI KURAMOTO 専門分野 小児神経科	資格・学会等 日本小児科医会[子どもの心 相談医]
---	--	---

DERMATOLOGY

皮膚科

完全予約制でゆっくりと
丁寧な診察

完全予約制でお待たせしないように心がけ、お一人お一人ゆっくりと時間をかけて診察を行います。症状によっては必要に応じて適切な総合病院へご紹介致します。

● 診療時間 / 火曜 9:00～12:00（最終受付11:00）
木曜 9:00～12:00（最終受付11:00）



医師紹介 / 皮膚科

	米満 文（平成18年卒） AYA YONEMITSU 専門分野 皮膚科一般 美容皮膚科	資格・学会等 日本皮膚科学会[会員] 日本美容皮膚科学会[会員]
---	---	--

美容部門 （保険外診療）	● 診療時間 / 月・火・水・木曜 13:00～15:00（最終受付14:00） 完全予約制
-------------------------	--

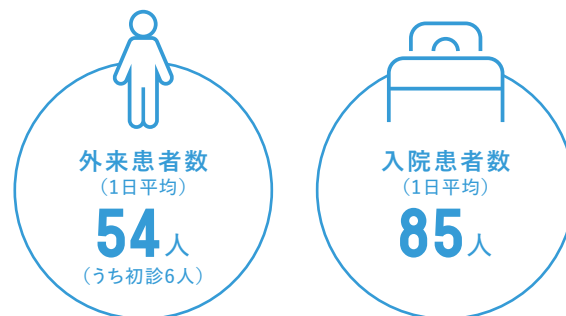
 メディオスター NeXT PRO （ダイオードレーザー脱毛機）	 ライムライト （IPL光治療）	 ウルトラセルQ+ （HIFU/ 高密度焦点式超短波）	 スーパービタリオン （イオン導入）
 PRX-T33 （コラーゲンピール）	ケミカルピーリング	 ダーマペン4 （マイクロニードリング）	

リハビリテーション科・ 脳神経内科・内科

急性期から在宅復帰まで 一貫したサポート

脳神経内科では、たとえば、身体にしびれを感じたり、めまいがしたり、うまく力がはまらない、歩きにくいなどの症状に対し、障害が起きている部位や原因を特定し、治療を行います。

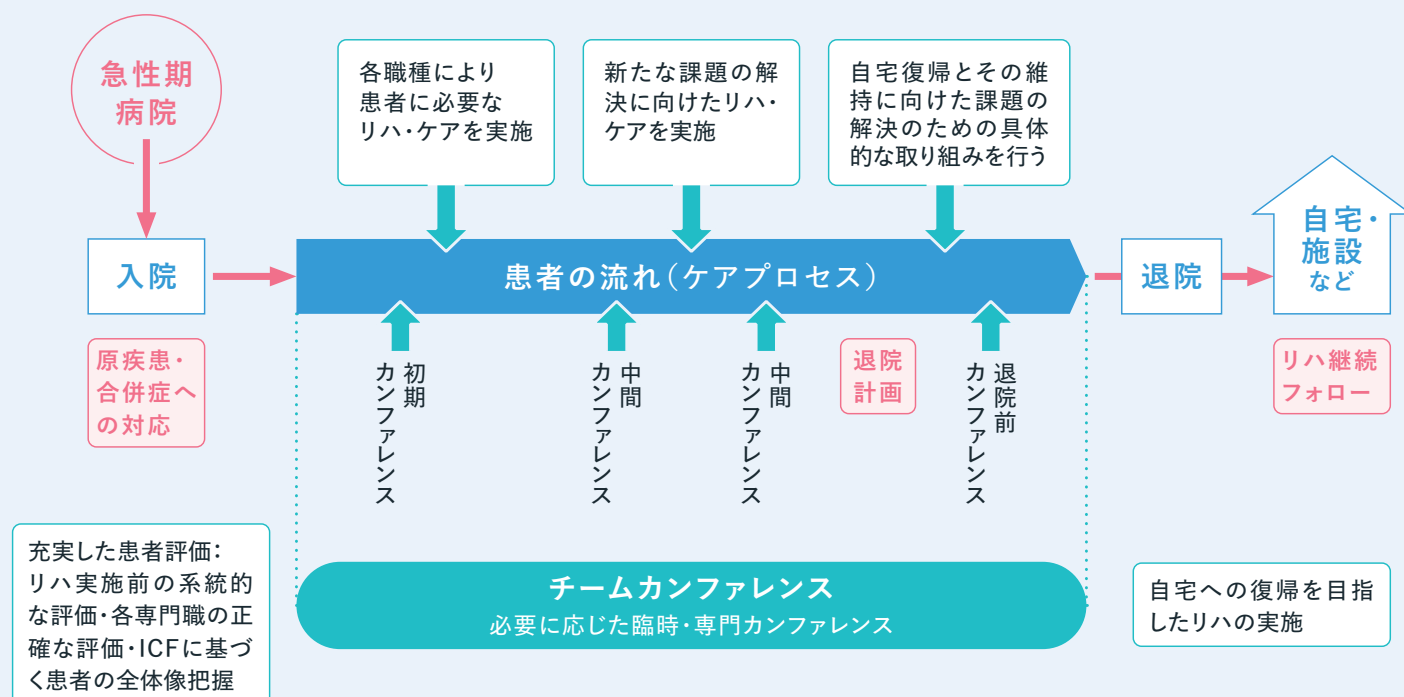
当院では脳神経内科と共にリハビリテーション科として、リハビリテーション専門医がリハビリスタッフ等と連携し、患者さんが当院にいらっしゃってからご自宅に帰られるまで、患者さんの状態に合わせたより適切なリハビリテーションの提供を行っています。



リハビリの詳細は **P52** へ

多職種の専門性を発揮

多職種チームによる回復期リハ・ケアの実践



医師紹介 / リハビリテーション科・脳神経内科



臨床研究センター センター長

木原 薫 (昭和55年卒)
KAORU KIHARA

専門分野 **脳卒中・リハビリテーション**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



副院長
総合リハビリテーションセンター センター長
熊本大学医学部医学科 臨床教授(脳神経内科)

渡邊 進 (昭和57年卒)
SUSUMU WATANABE

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科・脳卒中**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医]
日本内科学会[認定医]
日本転倒予防医学会[理事]
指定難病医療費助成制度[指定医]
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 理事



副院長
総合リハビリテーションセンター 副センター長

徳永 誠 (昭和63年卒)
MAKOTO TOKUNAGA

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[代議員/指導医/専門医/九州地方会幹事]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



桂 賢一 (平成10年卒)
KATSURA KENICHI

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科・脳卒中**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医]
日本内科学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



時里 香 (平成11年卒)
KAORI TOKISATO

専門分野 **脳神経内科
リハビリテーション**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会[専門医/認定臨床医/指導医]
日本神経学会[専門医]
日本医師会[認定産業医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



本田 省二 (平成11年卒)
SHOJI HONDA

専門分野 **脳神経内科
リハビリテーション科**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[評議員/指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



宮本 詩子 (平成15年卒)
UTAKO MIYAMOTO

専門分野 **脳神経内科
臨床神経生理学**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本神経学会[専門医/指導医]
日本臨床神経生理学[専門医/指導医]
日本リハビリテーション医学会[認定医/専門医/指導医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



中西 俊人 (平成21年卒)
TOSHIHITO NAKANISHI

専門分野 **脳神経内科一般**

資格・学会等

日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[総合内科専門医]
日本リハビリテーション医学会[専門医]



堀 耕太 (平成21年卒)
KOTA HORI

専門分野 **リハビリテーション
救急、集中治療**

資格・学会等

日本外科学会[外科専門医]
日本専門医機構[救急専門医]
日本集中治療医学会[集中治療専門医]

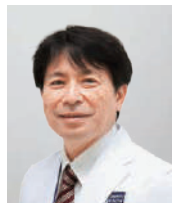


医師紹介 / 内科



小川 尚 (昭和39年卒)
HISASHI OGAWA

専門分野 味覚
脳活動の非侵襲性計測
味覚の客観的検査法の開発



平 敏裕 (平成3年卒)
TOSHIHIRO TAIRA

専門分野 内科
内部障害のリハビリテーション

資格・学会等

日本内科学会[認定内科医]
日本糖尿病協会[登録医]
日本腎臓リハビリテーション学会[指導士]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
義肢装具等適合判定医

内科
非常勤医師

竹迫 雅弘
MASAHIRO TAKABA

所属 山鹿中央病院

医師紹介 / 産業医



二塚 信 (昭和39年卒)
MAKOTO FUTATSKA

専門分野 公衆衛生学

資格・学会等

日本産業衛生学会[名誉会員/指導医]

GASTROINTESTINAL SURGERY

消化器外科



消化器症状は お気軽にご相談ください

胸やけや胃もたれ、下痢や便秘などの胃腸症状のある方、健診後の肝機能障害を指摘された方などの診断と保存的加療を行っています。消化器に関しては、上部内視鏡検査や腹部エコー、腹部CT、MRCPなどの精密検査が可能です。また、専門病院への紹介やセカンドオピニオンなどにも対応しています。

医師紹介 / 消化器外科



内野 良仁 (昭和54年卒)
RYOJIN UCHINO

専門分野 消化器外科

資格・学会等

日本外科学会[専門医/指導医]
日本消化器外科学会[がん治療認定医/指導医]
地域包括医療ケア[認定医]
日本医師会[認定産業医]

OTOLARYNGOLOGY

耳鼻咽喉科

「飲み込む」・「話す」・ 「聞く」を専門的にサポート

脳血管疾患や神経疾患などに伴う嚥下障害に対してリハビリテーション部門と共同で診療にあたっています。患者さんの状態や希望に応じて、嚥下機能改善手術、誤嚥防止術の対応も可能です。また、難聴の患者さんへの補聴器外来も検査やフィッティングができる体制を整えています。



医師紹介 / 耳鼻咽喉科



鮫島 靖浩 (昭和56年卒)
YASUHIRO SAMEJIMA

専門分野 耳鼻咽喉科

資格・学会等

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
[専門医/補聴器適合判定医/補聴器相談医]
日本嚥下医学会[認定嚥下相談医]
日本気管食道科学会[専門医]
日本音声言語医学会[認定医]

耳科領域中心の予約専門外来

- ① 真珠腫性中耳炎や慢性中耳炎など中耳疾患の診断・治療
- ② 難聴・眩暈などの神経耳科学性疾患の診断・治療
- ③ 補聴器の作成・調整

主に耳科領域を中心に予約制専門外来として診療を行います。中耳疾患については必要に応じ、入院・手術・術後処置など一貫した治療に対応しております。

難聴・補聴器外来では一般的な加齢性難聴に加え、術後耳の補聴器や耳鳴に対するTRT療法なども含めた特殊な補聴器の作成・調整にも対応致します。

医師紹介 / 耳鼻咽喉科



野口 聡 (平成元年卒)
SATOSHI NOGUCHI

専門分野 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳科手術・神経耳科学

資格・学会等

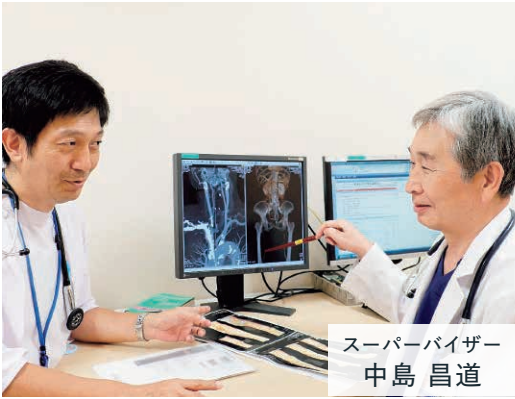
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
[認定専門医/認定補聴器適合判定医/認定補聴器相談医]
日本医療マネジメント学会[評議員]

血管外科

血管疾患をトータルに管理し、
健康をサポート

主に末梢血管疾患（下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患）、静脈血栓塞栓症などを中心に、循環器内科、形成外科とも連携し、診断、治療を行います。また、心臓外科の経緯を生かし、心臓大血管手術の周術期管理も行います。

また、静脈瘤手術に関しては2021年から、より低侵襲な血管内塞栓術（グルー治療：逆流している伏在静脈にカテーテルを入れ医療用糊にて閉塞させる）も開始し、日帰り手術・入院のどちらにも対応しています。



スーパーバイザー
中島 昌道

○手術実績 (件)		
手術名	R4	R5
下肢静脈瘤手術	68	66
血管内塞栓術	9	16
血管内焼灼術	57	47
抜去切除術・その他	2	3
末梢動脈手術	2	3
その他	3	2
合計	73	71

医師紹介 / 血管外科



萩原 正一郎（平成2年卒）
SHOICHIRO HAGIWARA

専門分野
心臓血管外科全般
（特に末梢血管外科）

資格・学会等

日本外科学会〔専門医/認定医〕
日本脈管学会〔専門医/指導医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
〔下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医〕

血管外科
非常勤医師

スーパーバイザー
中島 昌道
MASAMICHI NAKAJIMA

所属
熊本赤十字病院

循環器内科

地域に喜ばれる循環器内科を目指して

当循環器内科は、循環器疾患全般はもとより、中でも心不全、冠攣縮性狭心症の診断、治療、心臓リハビリテーションを含めた管理を得意分野としております。また、その上流にある原因の糖尿病、高血圧も当科の守備範囲として対応。“患者さんに学ぶ”から始まる実臨床での研究を通し医療レベルをアップデートしながら、高度急性期病院と地域クリニックの中間的な立ち位置という利点を活かし、医療連携のつなぎ役として地域の皆様に喜ばれる医療を提供してまいります。



	R3	R4	R5
入院患者数(年間)	183	219	218
うち心不全数	59	75	62
外来患者数(1日平均)	37	38	41
うち新患数(紹介含む)	2	2	2
心臓カテーテル件数	99	42	25
ペースメーカー植え込み(新規)／交換	5/4	5/8	16/11

	R3	R4	R5
入院心臓リハビリテーション件数	2,055	2,835	3,537
外来心臓リハビリテーション患者数(延べ)	698	1,067	1,262
CPX(心肺運動負荷試験)数	50	91	57

入院中だけではなく退院後も外来での心臓リハビリテーションをサポートしています。



/ 入院心臓リハビリテーション /



/ 外来心臓リハビリテーション /

心臓リハビリテーションは、心臓病を持つ患者さんが再発や再入院を防止することを目指して行います。患者さんひとりひとりの心臓の状態に応じ、医師からの運動強度などの指示に沿って血圧や脈拍、表情や会話の中で状態を確認しながら、効果的な有酸素運動やレジスタンス運動が安全に実施できるよう心がけています。

外来心臓リハビリテーションを終了した方（保険適用外の方）には
体力づくりセンターをご紹介します。

体力づくりセンターは **P61** へ



心不全教室について

週3回開催 多職種による心不全教室

当科では、多職種（医師4名・看護師2名・薬剤師1名・理学療法士2名・管理栄養士1名・臨床工学技士1名・医療ソーシャルワーカー1名）の専門家が連携し、心不全で入院中の方に、再入院予防のため勉強会を週3回開催しております。心不全に対する最新の知識を提供し、在宅での自己管理方法や再発防止についてお伝えすることで、患者さんの健康をサポートできるようチームで取り組んでおります。

心不全療養指導士：4名在籍（看護師：3名、薬剤師：1名）



/ 心不全勉強会 /

熊本病院 循環器内科 心不全勉強会											
月	火	水	木	金	土	日					
場所：本館2階西棟心臓リハ室 時間：15:00-15:30							1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11					
心不全と脳 講師：神経内科	心不全と腎臓 講師：腎臓科	心不全と心臓 講師：心臓科	心不全と呼吸器 講師：呼吸器科	心不全と消化器 講師：消化器科	心不全と泌尿器 講師：泌尿器科	心不全と婦人科 講師：婦人科					
12	13	14	15	16	17	18					
心不全と皮膚科 講師：皮膚科	心不全と小児科 講師：小児科	心不全と産科 講師：産科	心不全と眼科 講師：眼科	心不全と耳鼻科 講師：耳鼻科	心不全と歯科 講師：歯科	心不全と整形外科 講師：整形外科					
19	20	21	22	23	24	25					
心不全とリハビリテーション 講師：リハビリテーション科	心不全と放射線科 講師：放射線科	心不全と麻酔科 講師：麻酔科	心不全と救急科 講師：救急科	心不全と脳神経外科 講師：脳神経外科	心不全と脳神経内科 講師：脳神経内科	心不全と脳神経外科 講師：脳神経外科					
26	27	28	29	30	31						
心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科	心不全と心臓病 講師：心臓科					

/ 心不全勉強会 スケジュール表 /

医師紹介 / 循環器内科



熊本加齢医学研究所 所長

泰江 弘文（昭和34年卒）
HIROFUMI YASUE

専門分野
循環器疾患・高血圧・糖尿病
内分泌疾患・肥満・生活習慣病

資格・学会等

日本内科学会〔名誉会員〕
日本循環器学会〔特別会員〕
日本心血管内分泌代謝学会〔名誉会員〕



熊本健康・体力づくりセンター 所長
治験管理室 室長

原田 栄作（平成4年卒）
EISAKU HARADA

専門分野
循環器疾患・高血圧・糖尿病・肥満
スポーツメディカルチェック

資格・学会等

熊本県ラグビーフットボール協会医務委員
日本内科学会〔認定医〕
日本循環器学会〔専門医〕
日本スポーツ協会〔公認スポーツドクター〕
日本医師会〔認定健康スポーツ医〕
熊本県スポーツ協会〔スポーツ医科学専門委員〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕
日本心臓リハビリテーション学会〔指導士/評議員〕



菊田 浩一（昭和62年卒）
KOICHI KIKUTA

専門分野
循環器疾患

資格・学会等

日本内科学会〔総合内科専門医〕
日本循環器学会〔専門医〕
日本心臓病学会〔上級臨床医（FJCC）〕



釘宮 史仁（平成13年卒）
FUMIHITO KUGIMIYA

専門分野
循環器全般
（心臓カテーテル治療・心臓リハビリ等）

資格・学会等

日本内科学会〔総合内科専門医〕
日本循環器学会〔専門医〕
日本心血管インターベンション治療学会〔認定医〕
日本心臓リハビリテーション学会〔指導士〕
日本不整脈心電学会 心電図検定1級

循環器内科 非常勤医師

（※五十音順）

有馬 勇一郎
YUICHIRO ARIMA

所属
熊本大学病院

九山 直人
NAOTO KUYAMA

所属
熊本大学病院

RHEUMATOLOGY

リウマチ科

患者さんの生活に 考慮した治療を

リウマチ科では、薬物療法により関節の痛みや腫れを抑える治療をはじめ、整形外科との連携により身体の機能回復に向けて、リハビリテーションを取り入れるなどして、患者さんのQOL（生活の質）を維持できるように努めております。

医師紹介 / リウマチ科



工藤 博徳（平成4年卒）
HIRONORI KUDO

専門分野
リウマチ学・膠原病学・免疫学

資格・学会等

指定難病医療費助成制度〔指定医〕

NEUROSURGERY

脳神経外科

患者さんの頭痛や 機能障害の改善に

脳神経外科は、頭痛での悩み、脳疾患による機能障害への手術での改善や、脳血管障害の予防などを目的とした診療を行っています。

また、脳脊髄液漏出症で困っている患者さんの診断及びブラッドパッチなどの治療を行っています。当科は完全予約制になっていますので、ご予約を願いたします。

医師紹介 / 脳神経外科



江口 議八郎（昭和57年卒）
GIHACHIRO EGUCHI

専門分野
脳神経外科専門
頭痛専門

資格・学会等

日本脳神経外科学会〔専門医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕
日本頭痛学会〔専門医〕



○ブラッドパッチ治療件数

R3	R4	R5
33件	41件	41件

救急科・外科

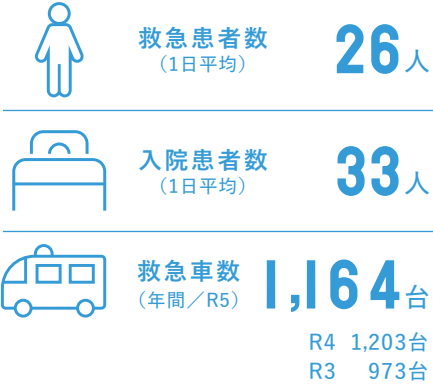
24時間、やさしい救急医療を目指しています

救急科では、救急センターを中心として24時間体制で、診療を行っております。

当院の救急センターは救急専門医と各診療科の医師が連携し、患者さんにとってやさしく、専門性の高い救急医療の提供を目指しています。

○救急外来受診疾患の内訳（R5年度）

外科系疾患	件数
手指切創・挫創、手指切断、手指骨折・捻挫	221
鎖骨・上腕骨・橈骨骨折、尺骨遠位端骨折、脱臼	116
頭部挫創・打撲、顔面挫創・打撲、鼻骨骨折	104
大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折、大腿骨骨幹部骨折	82
膝部挫創・打撲、膝関節捻挫、膝蓋骨骨折	80
足関節捻挫・趾骨・中足骨打撲、骨折	73
頸椎捻挫、外傷性頸部症候群、頸部痛、頸椎症	67
腰痛症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板症、腰椎椎間板ヘルニア	58
足部打撲傷・捻挫、趾打撲・挫創・捻挫	54
下腿打撲・挫創、下腿骨折	47
腰椎圧迫骨折、腰部打撲傷	45
肘内障、肘関節靱帯損傷・骨折・脱臼・打撲・挫創	40
胸椎圧迫骨折、胸部打撲	32
その他	1,659
合計	2,678



内科系疾患	件数
発熱・COVID-19(疑い含む)	579
インフルエンザ(疑い含む)	220
心不全・不整脈・心筋梗塞・高血圧	42
めまい・意識障害	32
脳卒中(疑い含む)・脳梗塞・脳出血(疑い含む)・硬膜下血腫	31
急性上気道炎・感冒・急性咽頭炎・咽頭痛	25
感染性胃腸炎・急性胃腸炎・胃腸炎・腹痛	22
熱中症・脱水	17
胸痛・動悸	16
誤嚥性肺炎・急性肺炎・肺炎	10
頭痛	8
尿管結石	6
じんま疹	4
その他	1,644
合計	2,656

医師紹介 / 救急科・外科

理事長・救急センター長
米満 弘一郎 (平成12年卒)
KOICHIRO YONEMITSU

資格・学会等
医学博士
日本救急医学会[専門医]
日本集中治療医学会[専門医]
日本リハビリテーション医学会[会員]
日本外科学会[会員]
日本臨床内科医学会[会員]

救急科
非常勤医師
(※五十音順)

井 清司
SEISHI I

楯 直晃
NAOAKI TATE

山田 周
SHU YAMADA

外科
非常勤医師

門岡 康弘
YASUHIRO KADOOKA

所属 **熊本大学病院**

放射線科・地域医療連携画像診断センター

迅速で正確な画像診断によって診療を支える

当院の放射線科ではCT、MRI、骨密度装置などを駆使し、迅速で正確な画像診断を行うために常に努力を続けています。

また、院内における検査に限らず、「地域医療連携画像診断センター」として、近隣医療機関からの検査依頼も受け付けており、幅広い疾患の検査を数多く行っています。

	CT撮影件数	MRI撮影件数
全件数	6,179	4,554
うち外部からの依頼件数	100	154

地域医療連携画像診断センター

画像診断サービスを提供しています

CT(造影、心臓血管3Dも可)
MRI(造影、MRCPも可)
骨密度測定装置をご利用いただけます。

- 検査結果について
検査後の画像はCD-ROMで、
専門医による読影結果も
当日患者さんへお渡し出来ます。

- 電話にて専門医と相談も可能です。
(平日10:00～16:00まで)

医師紹介 / 放射線科・地域医療連携画像診断センター

中山 善晴 (平成7年卒)
YOSHIHARU NAKAYAMA

資格・学会等
日本医学放射線学会[専門医/診断専門医]
日本放射線科専門医会[会員]
日本遠隔医療学会[会員]
オートプシー・イメージング学会[会員]

専門分野 **腹部・骨軟部画像診断学**

石塚 恵未 (平成15年卒)
EMI ISHITSUKA

資格・学会等
日本医学放射線学会[専門医/診断専門医]

専門分野 **画像診断**



当院では画像診断管理加算2も算定しています。
専門医にて全件数を読影し、翌診療日までに主治医に報告する体制を整えています。



麻酔科

周術期患者安全の一翼を担う

2023年度はCOVID-19が5類感染症へ移行となり、手術室のみならず病院全体の医療体制を再構築する1年となりました。総手術件数と麻酔科管理件数は微増にとどまりましたが、今年度は新しく赴任した外科医師らとコロナ前の手術件数を目指します。手術室の運営においては患者安全を最優先とした麻酔管理体制に大きな変化はありません。今年度もより良い手術室・麻酔科運営を目標とし、安全な麻酔管理体制の維持に努めます。



医師紹介 / 麻酔科

	副院長 矢野 敏之 （昭和58年卒） TOSHIYUKI YANO 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医/麻酔科認定医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕
	中山 良輔 （昭和62年卒） RYOSUKE NAKAYAMA 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 日本輸血細胞治療学会〔会員〕
	今泉 隆志 （平成5年卒） TAKASHI IMAIZUMI 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 ICD制度協議会 〔インфекションコントロールドクター〕
	采田 千穂 （平成9年卒） CHIHO UNEDA 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 日本臨床麻酔学会〔会員〕
	川本 和彦 （平成10年卒） KAZUHIKO KAWAMOTO 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医/麻酔科認定医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕

	R4	R5
麻酔管理件数	2,140	2,197
うち全身麻酔件数 （全身麻酔率）	2,137 99.9%	2,197 100%

偶発症合併症名	発生率(%)
低血圧（収縮期圧 70mmHg以下）	18.5
不整脈	17.3
吐き気・嘔吐	6.1
息こらえ（人工呼吸中の一時的な呼吸の異常）	4.6
のどの痛みや違和感	3.9
高血圧（収縮期圧 200mmHg以上）	2.3
高度徐脈（脈拍数 40拍/分以下）	2.0

薬剤部

医薬品の安全使用、 適正使用に努めます

全病棟に担当薬剤師を配置し、服薬指導、薬学的管理、処方提案を行っています。



○入院中の薬剤師による服薬指導件数

R3	R4	R5
15,355件	13,873件	13,333件

○医薬品適正使用に向けた薬剤師の処方提案数

R3	R4	R5
995件	1,354件	1,828件

手術予定患者さんの薬剤師面談を外来で開始しました。服用薬の確認、術前中止薬の患者さんへの説明を行っています。アレルギー情報や手術に影響のある薬剤などの情報を麻酔科医と共有し、周術期の安全確保に努めています。



○周術期の薬剤管理業務 令和5年度の面談件数

750件

専門知識を活かし、骨粗鬆症、心不全、パーキンソン病など、患者教育にも力をいれており、退院後の生活に重点をおいた支援をチームで行っています。治療の切れ目がないよう、これから地域の先生方と連携をすすめていきたいと思っています。



薬剤部 部長
杉山 留美子
RUMIKO SUGIYAMA

MESSAGE

『薬のスペシャリストとして、患者さんの薬物療法に責任をもつ』『薬のセーフティーマネージャーとして、薬の不利益から患者さん・医療スタッフを守る』をミッションに、医薬品の安全使用、適正使用に努めています。

○資格（R6年4月現在）

名称	人数
日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
JPALS認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	2名
認定実務実習指導薬剤師	2名
医療薬学会認定薬剤師	2名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
感染制御認定薬剤師	1名
周術期管理チーム薬剤師	1名
骨粗鬆症マネージャー	1名
スポーツファーマシスト	1名
栄養サポートチーム専門療法士	1名
心不全療養指導士	1名
パーキンソン病療養指導士	1名
心電図検定 1級	1名
医薬品情報専門薬剤師	1名
麻薬教育認定薬剤師	1名

患者さんへ、より質の高い薬物治療を提供するために、専門知識を有する薬剤師の育成に積極的に取り組んでいます。



臨床検査部

理念

- 1.患者に寄り添い、診断・治療に役立つ迅速で正確な質の高い検査を提供します
- 2.探求心を持ち続け、学術研究に研鑽します

検体検査室

一般社団法人

日本臨床衛生検査技師会

「品質保証施設認証」取得中

「品質保証施設認証」とは、当院が提供する臨床検査のデータが「所定の基準成績を維持し、日々の内部精度管理、是正改善状況をはじめ、職員の教育・充足についても審査に合格し、基準を満たしている施設」と認証されたものです。



/ 品質保証施設認証 /



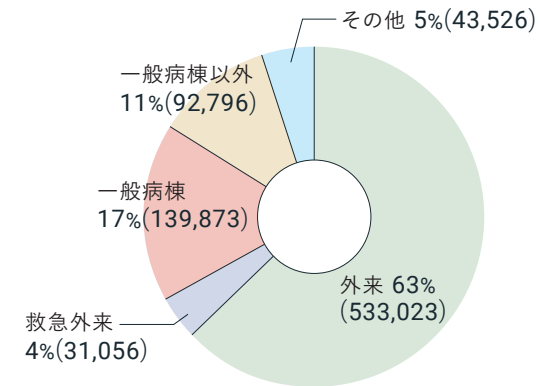
臨床検査部 部長
徳永 好美
YOSHIMI TOKUNAGA

MESSAGE

2023年4月より臨床検査部門は「臨床検査部」になりました。
臨床検査部では、検査機器を使って患者さんの血液や尿などや身体の検査をおこなっています。各検査室は正確かつ迅速に検査結果を提供しています。



検体検査実績



神経生理センター・神経生理検査室

地域に開かれた共同利用型の
神経生理検査室

当院の神経生理センターは、神経伝導検査、筋電図、体性感覚誘発電位、運動誘発電位、脳波検査などの検査を日本臨床神経生理学会専門技術師と専門医が行っている、熊本県内でも数少ない共同利用型の神経生理検査室です。また、学生実習のみならず、他の施設からの研修も受け入れています。

所属技術師4名のうち
日本臨床神経生理学会専門技術師:4名

神経伝導検査(NCS)

手足のしびれや筋力低下がある患者さんに

皮膚上で末梢神経を電気刺激し、誘発された電位をもとに、伝導速度や波形を評価して検査報告書を作成します。診療情報提供書には、日本臨床神経生理学会認定医によるコメントと検査報告書及び各波形を添付いたします。

※検査のみのご依頼もお受けいたします。

心臓生理検査室

急性期からリハビリまでトータルでサポート

心臓生理検査室では超音波検査や心肺運動負荷試験、血管年齢、睡眠時無呼吸などの生体検査を担当しております。患者さんの生体情報を正確に検査・把握し臨床医へ報告、チーム医療の一翼を担っています。当院には、日本超音波医学会の認定超音波検査士(循環器・消化器・血管)が在籍しており、精度・品質の高い検査結果の提供に努めています。

心臓生理検査実績

	R4	R5
心臓超音波	4,049件	4,156件
腹部超音波	342件	378件
体表超音波	882件	1,061件
トレッドミル	80件	21件
血管超音波	1,205件	3,757件
心臓カテーテル(検査・治療)	42件	25件
ABI	432件	404件

神経生理検査実績

	R5
神経伝導速度(NCS)	2,568件
体性感覚誘発電位(SEP)	729件
筋電図(EMG)	133件
脳波(EEG)	111件
磁気刺激運動誘発電位(MEP)	169件
合計	3,710件

当院では下記の検査も可能です。

検査	代表的疾患
体性感覚誘発電位(SEP)	脊椎症、神経根症、腕神経叢損傷、胸郭出口症候群など
運動誘発電位(MEP)	脊椎症、運動ニューロン疾患など
針筋電図(EMG)	脊椎症、腕神経叢損傷、運動ニューロン疾患など
脳波(EEG)	てんかん
聴力精査	老人性難聴、突発性難聴など
味覚検査	味覚障害
顔面神経伝達検査	ベル麻痺、ハント症候群

神経生理センター
予約申込 ☎ 096-345-8111(代)
(内線2570) 受付時間 /月～金9:00～16:30



	R4	R5
CPX	91件	57件
ホルター心電図	180件	155件
安静心電図	7,544件	7,737件
肺機能	2,024件	2,056件
睡眠時無呼吸(簡易型・精査型)	43件	33件
血管年齢(中心血圧測定:AI) ※平成29年4月より実施	4件	6件

NURSING DEPARTMENT

看護部

看護部基本方針



看護部 部長
荅 美恵子
MIEKO TSUBOMI

MESSAGE
看護部は『一人一人を尊重した最適な看護を提供します』の理念のもと、「尊重」「支援」「協働」を基本方針として、思いやりのある心温かい看護・介護を提供することを目指しています。

R5年度の主な取り組み



○ユニフォームの更新
男女の差をなくし働きやすさを重視したユニフォームへ



○能登半島地震へ災害支援
JMATへ4名の看護師派遣



質の高い看護ケア実践のための専門的知識・技術取得

- 感染管理認定看護師資格取得(特定行為研修含む)
- 認知症看護認定看護師教育課程修了(特定行為研修含む)



感染管理認定看護師

○資格(R6年4月現在)

名称	人数
認定看護管理者	1名
認知症看護認定看護師	1名
感染管理認定看護師	2名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	2名
日本禁煙学会 専門指導看護師	1名
回復期リハビリテーション看護師	8名
自己血輸血認定看護師	1名
糖尿病療養指導士	2名
骨粗鬆症マネージャー	3名

NUTRITION DEPARTMENT

栄養部

「楽しい食事」と「適切な栄養管理」で入院生活をサポート

令和5年度は病院食に海外の美味しい料理や熊本のB級グルメなどを取り入れ、患者さんと共に味めぐりを楽しみました。



栄養部 課長
田中 聖代美
KIYOMI TANAKA

MESSAGE
安心安全な美味しい食事の提供と、適切な栄養管理をもって患者さん中心の医療に貢献することをミッションとして日々の業務に取り組んでいます。皆様に寄り添い、喜ばれるお食事を心を込めてつくります。



味めぐり第6弾～台湾～
・鶏肉飯(ジーローハン)
・シュウマイのあんかけ
・トマトかき卵スープ
・豆花(トウファ)

○資格(R6年5月現在)

名称	人数
NST専門療法士	2名
在宅訪問管理栄養士	1名
糖尿病療養指導士	4名
骨粗鬆症マネージャー	1名
病態栄養専門管理栄養士	1名



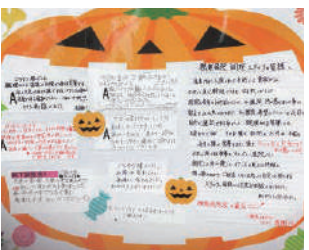
〈熊本機能病院 推しメニュー〉
バターチキンカレー



〈熊本B級グルメ〉
サラダちくわ

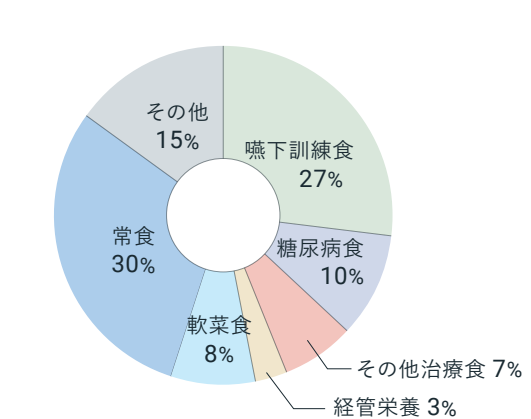


ロコモコ風

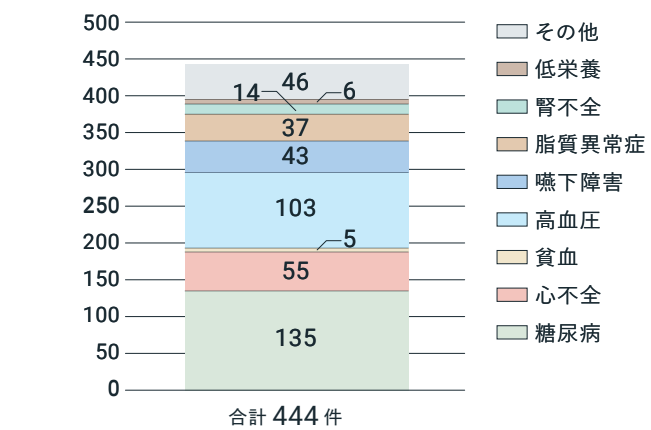


患者さんからの
ありがとうメッセージ

○R5年度提供食数内訳(%)



○R5年度栄養指導内訳(件数)



医療安全管理部門

医療の安全を守る 専門スタッフ

当院は医療安全管理部門として、医療安全管理室、院内感染管理室、医療機器安全管理室、医薬品安全管理室を設置しており、それぞれの専門スタッフが医療の安全を守る取り組みを行っています。
(2024年4月からは医療放射線安全管理室も設置されました。)

医療安全管理室

- インシデント事例の収集、保管、分析、結果のフィードバック
- 具体的な改善策の提案・支援
- 職員研修の企画・運営
 - 全体研修会(年2回)、新入職員研修、急変時対応研修など
- 医療安全推進のための活動
 - 医療安全推進週間(5月、11月)
 - 院内ラウンド(月1回)
 - 転倒転落予防ワーキンググループによる環境ラウンド／事故検証
 - 医療安全情報・ニュース配信
 - 医療安全目標と活動指標による管理
 - 表彰:グッドキャッチ賞および医療安全推進賞
- 医療安全対策地域連携相互評価(連携医療機関相互に年1回)
 - 連携医療機関:済生会熊本病院、熊本赤十字病院、寺尾病院



医療安全管理室 室長

中尾 和代
YASUYO NAKAO

MESSAGE

医療安全管理者(専従)として、病院全体の医療安全管理業務に携わっております。組織横断的な活動を通して、患者安全・医療の質改善に取り組むことで患者さんや地域に信頼される病院を目指しております。



/ 転倒予防WG環境ラウンド /



/ 医療安全院内ラウンド /

医薬品安全管理室

『ハイリスク薬の誤薬ゼロ』を目指します

2023年4月より、医薬品安全管理室が設置されました。他の医療安全管理部門と連携しながら、医薬品を安全に使用できる体制の確保に努めています。

医薬品安全管理責任者の指示のもと、薬のセーフティマネージャーとして薬剤師が中心となり、医薬品安全使用に関する研修会や、医薬品安全使用のための方策の実施に力をいれています。特にハイリスク薬に重点をおいて取り組みを行っています。

院内感染管理室

○ICTラウンド

- 耐性菌検出者・抗菌薬使用者・発熱嘔吐下痢者の感染対策状況の確認 1回/週
- 手指衛生実施状況確認フィードバック 1回/週

○院内の耐性菌検出状況の分析・フィードバック 1回/月

○医療関連サーベイランス

- (耐性菌・発熱・嘔吐下痢・SSI)実施

○アルコール手指消毒薬使用量調査・フィードバック

○教育

- 院内全体研修 2回/年
- 流行性疾患対策、手指衛生・个人防护具着脱研修75回
- 新興感染症の発生を想定した个人防护具着脱実地研修(院内) 28名

○感染防止対策地域連携

- 水俣市立総合医療センター・天草中央総合病院と感染防止対策地域連携のための相互チェックを実施
- 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院と4回/年以上のカンファレンスの開催
- 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院からの相談対応・新興感染症の発生を想定した訓練実施

○職業感染対策としてのワクチンプログラムの実施

- B型肝炎・小児ウイルス疾患ワクチン
- インフルエンザワクチン
- 新型コロナワクチン



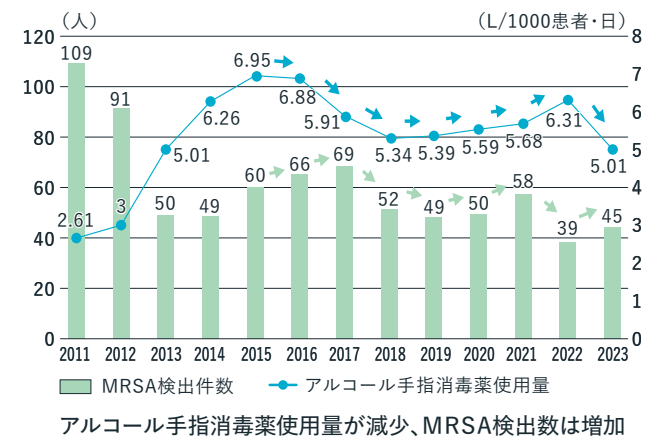
院内感染管理室 室長

山本 美紀
MIKI YAMAMOTO

MESSAGE

院内感染管理室は様々な感染症から、患者さんや私たち職員を守るために、適切な院内感染対策の立案、実施、啓発を行う部署です。院内感染リスクを最小限に抑え、安心な医療環境を整えるために活動しています。

■過去13年間のMRSA検出件数とアルコール手指消毒薬使用量の推移



医療機器安全管理室

○医療機器適正使用に向けての情報動画提供

- YouTube 熊本機能病院 医療機器安全管理室チャンネル開設 年間視聴数(760回)

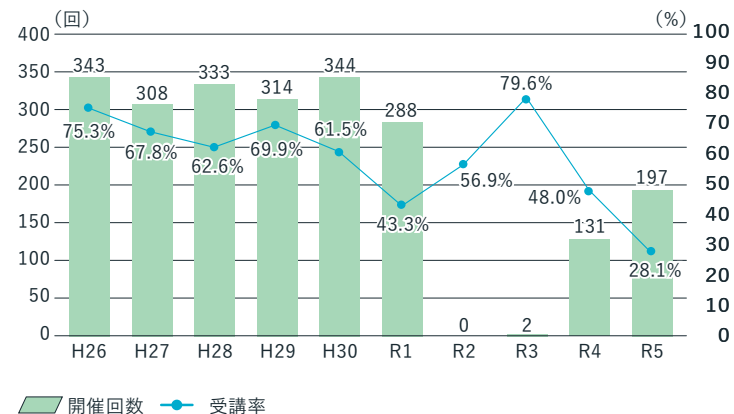
○ハンズオントレーニング受講、動画視聴の推進

○特定管理医療機器の点検実施

○メンテナンスサポート終了機器・消耗品

- 供給停止機器等の更新

■ハンズオントレーニングセミナー実施状況



医療機器安全管理室 室長

山田 佳央
YOSHIO YAMADA

MESSAGE

医療機器安全管理室では、「医療機器の安全及び効率的な運用の追究」を目的に、私を含め3名の臨床工学技士(CE: Clinical Engineer)が活動しています。医療機器についてのご質問等、何時でもお受けしますのでは是非お声掛け下さい。

- R2.3年度-
ハンズオントレーニングは開催せずe-ラーニング受講
- R4年度-
YouTube 動画視聴の推進・ハンズオントレーニング(希望者)
- R5年度-
ハンズオントレーニング(ラダーⅢ、部会)・受講者の各部署でのレクチャー

総合リハビリテーション部

最高のリハビリテーションサービスを目指します

1981年の開院時からリハビリテーションの専門病院として、常に新しい知識や技術を取り入れ、質の高いリハビリテーションサービスを提供するため努力しています。先進機器の導入も積極的に取り組んでいます。



理学療法課 課長
三宮 克彦
KATSUHIKO SANNOMIYA



作業療法課 課長
今田 吉彦
YOSHIHIKO IMADA



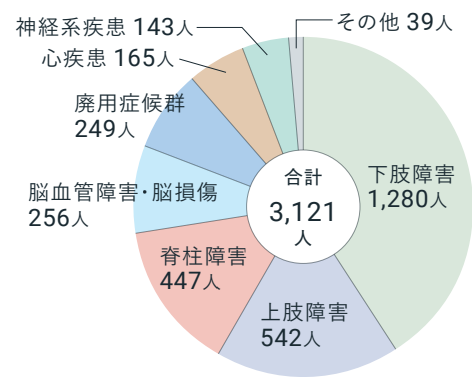
言語聴覚療法課 主任
竹谷 剛生
MASAO TAKETANI



口腔リハ課 主任
古川 由美子
YUMIKO FURUKAWA

理学療法課・作業療法課・言語聴覚療法課

○入院リハビリテーション対象疾患内訳（R5年度）



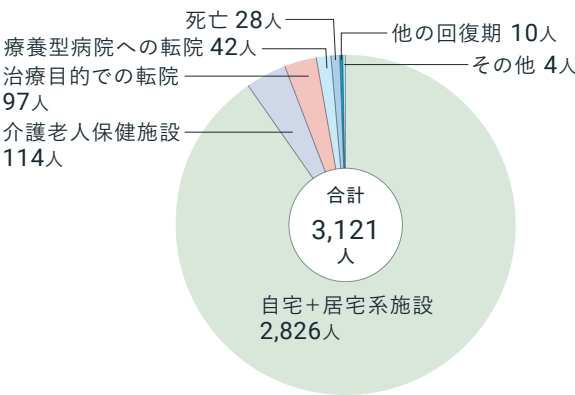
○疾患別患者内訳（R5年度）

	患者数	年齢	在院日数	在宅復帰率
運動器	2,286人	68.2歳	35.4日	93.9%
脳血管疾患等	427人	72.6歳	53.7日	83.6%
心大血管	174人	83.6歳	23.8日	86.8%
廃用症候群	234人	80.9歳	40.4日	73.1%
総計	3,121人	70.6歳	37.7日	90.5%

○疾患別FIM利得（R5年度）（平均点）

	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得
運動器	100.6	112.4	11.8
心大血管	88.6	101.1	12.4
脳血管疾患等	77.2	92.6	15.4
廃用症候群	69.6	79.1	9.6
総平均	94.4	106.6	12.2

○退院先（R5年度）



○外来リハビリテーション対象疾患内訳（R5年度）

	人数	割合
手外科疾患	759人	32.0%
膝・足関節・足部疾患（障害）	580人	24.5%
肩・肘疾患（障害）	317人	13.4%
口唇口蓋裂	203人	8.6%
言語発達遅滞・構音障害	149人	6.3%
脊椎疾患（障害）	111人	4.7%
心臓疾患	62人	2.6%
骨盤・股関節疾患（障害）	61人	2.6%
脳血管疾患・脳損傷	51人	2.2%
神経疾患（障害）	20人	0.8%
その他	57人	2.4%
総計	2,370人	100.0%

口腔リハ課

	R5年度 口腔評価実績（延人数）
熊本機能病院	808件（1,382件）

	R5年度 訪問歯科診療実績（治療延人数）
熊本機能病院	280人（932人）

内訳：う蝕-115人、義歯修理・調整-107人、義歯新製-16人
口腔ケア-22人、粘膜疾患-16人、外傷-4人

	R5年度 実習生受入状況
歯科衛生士	6人



■訪問歯科連携センター

訪問歯科連携センターでは入院患者さんに対して、地域の歯科医院と連携をとりながら、口腔疾患の改善・口腔ケアの徹底・誤嚥性肺炎および窒息事故等の発生を予防し、その後の医療を円滑に行うことに貢献するとともに、摂食・嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を、病院の医師や他のスタッフの協力を得て行い、患者さんのQOL向上に貢献します。

臨床心理部門

○公認心理師（臨床心理士）介入人数（R5年度）

	人数
一般病棟	1人
障害者施設等一般病棟	1人
地域包括ケア病棟	1人
回復期リハビリテーション病棟	23人
合計	26人



R5年度より設置された臨床心理部門では、人生の途上で障害を負った患者さんやそのご家族の心理面をサポートします。心理状態を専門的に評価し、患者さんのリハビリテーション上での心理的環境を整えていけるよう多職種と協同します。

NARC

（Neuro-activation Rehabilitation Center）

科学に基づくリハビリテーションを
実践しています

Neuro-activation Rehabilitation Center（NARC：ナーク）は私たちが信条とする「科学に基づくリハ」を実践するための部門です。「神経活性化」の考えを軸として、先進機器や新しい概念を当院リハに取り入れるための情報収集、導入後の振り返り評価や学会等を通じた報告などを実践しています。

当院のリハ関連先端機器としては、ウェルワーク（歩行支援ロボット）、IVES（随意運動介助型電気刺激装置）、Hondaセーフティナビ（ドライビングシミュレータ）、ウォークエイド（歩行神経筋電気刺激装置）、バイタルスティム・ジェントルスティム（嚥下専用電気治療器）等を導入しています。

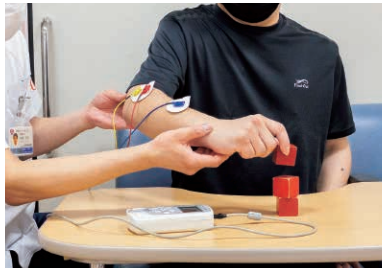
総合リハビリテーションセンター長 渡邊 進

■ NARC 導入実績



Driving Simulator

自動車運転に必要な評価と運転技術のシミュレーション練習を行います



IVES

筋活動にあわせて、電気刺激を筋肉に出力して麻痺した手足を治療する低周波治療器です



TS-MYO

筋肉に生じる電氣的活動の計測・評価を行い、回復程度の確認や治療方法の選択を行います



TOYOTAウェルウォーク ww-2000

ロボット脚で片側の股/膝/足関節をアシストして正常歩行に近い状態で歩行練習を可能にするロボットです

○言語聴覚療法対象疾患 成人脳損傷患者（R5年度）

	患者数
失語症	48人
高次脳機能障害	72人
構音障害	130人
摂食嚥下障害	147人

○小児新規対応症例数（外来）（R5年度）

	患者数
口蓋裂	19人
吃音	17人
機能性構音障害/言語発達遅滞	44人
舌小帯短縮症	5人

○ウェルウォーク使用者の歩行能力の変化 （R5年度）

平均年齢：65.5歳 平均実施日数：41.4日

	開始時	終了時
歩行不能	15人	3人
介助歩行	5人	9人
見守り歩行	0人	8人
独立歩行	0人	3人

○脳卒中患者入退院時の歩行能力の変化 （R5年度 213名）

	入院時	退院時
歩行不能	109人	36人
介助歩行	23人	21人
見守り歩行	36人	22人
独立歩行	45人	134人



Gentle Stim.

脳卒中やパーキンソン病などの神経疾患等に起因する摂食嚥下障害に対して用いる干渉波刺激機器です

医療連携部

医療・介護・福祉の 連携強化を図る

当院では、療養に伴う様々な不安や心配ごと等について、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が福祉の立場から、患者さんやご家族のご相談に応じて問題解決のお手伝いをします。

■医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）業務

入院初期から患者さんが自分らしい生活を続けていくための様々なサービスの利用や方法を一緒に考えます。患者さん・ご家族・病棟退院支援社会福祉士・退院支援専従社会福祉士・病棟看護師・退院支援専任看護師にてカンファレンスを実施しています。

8:30	9:00	10:00	11:00	12:10	13:00	15:00	16:00
朝礼	多職種カンファレンス	退院前カンファレンス	インテーク面接 入退院支援カンファレンス	昼食	退院前 住宅訪問	患者・家族 面接	電子カルテ MSW記録 終礼

退院後の生活について検討し、介護保険サービス等の利用調整を行います。ケアマネジャーをはじめとする在宅スタッフに参加します。

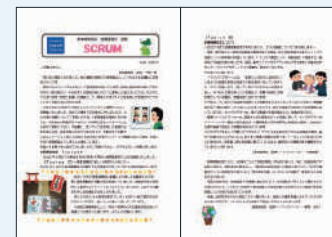
入院して間もない患者さん、ご家族から入院前の生活状況や退院後の生活に関するご意向などのお話を伺い、退院に向けて一緒に考えさせていただきます。

患者さんが円滑に在宅生活を送ることが出来るよう、関係スタッフ（理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、福祉用具業者など）が自宅を訪問し、住環境の把握から自宅での動作指導・生活指導やご家族への介護指導および福祉用具の選定・住宅改修の提案を行います。

■在宅サービスとの連携

患者さん・ご家族の抱えるニーズを把握し、問題の解決を図るため、様々な関係機関・関係施設と密な調整・連携を行っています。退院前住宅訪問や退院前カンファレンスを開催し、在宅サービスを担う皆様と情報共有を行っています。また、安心、安全な退院へ向けて連携を強化しています。

○広報誌 「SCRUM」



手作りの広報誌「SCRUM」を年3回お送りしています。職員の「顔が見える」誌面を心がけています。

～紙面の例～

- ・医療連携部のトピックス（新入職員の紹介、学会参加の報告 等）
- ・医療ソーシャルワーカーの病棟配置
- ・職員コラム・・・本や漫画の紹介、身近な出来事、最近感じたこと

○地域連携のつどい



近隣の連携先事業所を対象に、当院の体制を知ってもらい、顔の見える関係を作り、患者の退院支援に活かすことを目的に開催しています。前半は当院スタッフが講演を行い当院の活動や強みを伝え、後半のグループワークで日頃の連携のご要望を伺っています。

日程	テーマ	参加者数
R5 9/7	在宅における栄養管理の重要性	17名
R6 2/19	心不全自己管理のススメ ～心不全と上手に付き合う支援を考えよう～	12名

熊本市高齢者支援センター

ささえりあ清水・高平

(熊本市北3地域包括支援センター)

清水校区・高平台校区在住の高齢者の相談窓口

—熊本市の委託で運営—



職員体制:9名
(社会福祉士、生活支援
コーディネーター、主任介護
支援専門員、保健師、看護師)

■主な取り組み

○介護予防ケアマネジメント業務

R5年度ケアプラン作成件数 2,292件

○一般介護予防事業

R5年度「通いの場」新規立ち上げ4件、「通いの場」運営継続支援41件、住民向け研修会・出前講座開催41件

○権利擁護業務

R5年度 権利擁護関連研修会2回開催、認知症カフェ運営支援8回、キッズサポーター養成講座2回開催(清水小学校4年生91名、高平台小学校4年生106名対象)、高齢者虐待対応11件

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

R5年度自立支援型地域ケア会議14事例検討、課題解決型地域ケア会議3回開催、医療介護関連研修会4回開催、北3圏域介護保険事業所交流会1回開催

○生活支援体制整備

社会資源情報を収集し地域ケア計画を作成、北区買物支援検索ツールの作成

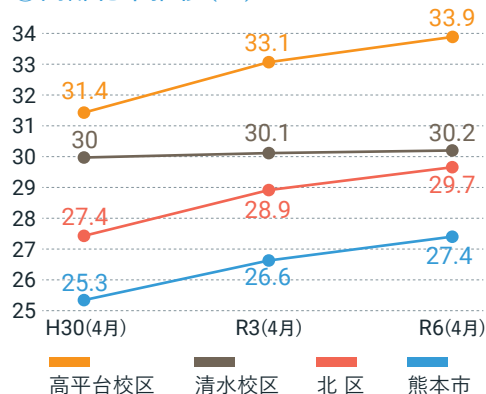
○地域団体・関係機関とのネットワークづくり

R5年度地縁団体、行政、介護保険事業所等とのネットワーク会議126回

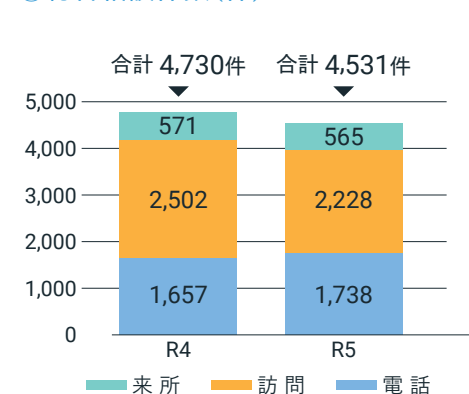
○広報活動

R5年度イベント参加71件、ささえりあ清水・高平便り4回発行、ささえりあ清水・高平公式ライン、メールでの情報発信、地域イベントでの周知71件

○高齢化率推移(%)



○総合相談件数(件)



熊本市北3地域包括支援センター
主任

徳永 亜希子
AKIKO TOKUNAGA

MESSAGE

ささえりあでは清水・高平台校区在住の高齢者と、その高齢者を支える関係者からの様々な相談に対応しています。住民主体のサロンの運営支援や高齢者支援に関する社会資源情報の提供も行っています。お気軽にお問合せください。



/ 認知症カフェの様子 /



/ ケアマネジャー・民生委員合同研修会の様子 /



/ 高平台校区健康まつりウォーキングの様子 /

清雅苑 / ホームケアサポートセンター

さまざまな施設と連携し、地域ケアを実現する

清雅苑は、昭和63年10月に熊本県第1号の老健施設として開設しました。

要介護状態にある方に専門性の高いリハビリテーション・ケアを提供し、在宅復帰を積極的に進めるとともに、在宅復帰後の生活をホームケアサポートセンター(在宅サービスの総合相談窓口)と連携して実施しています。



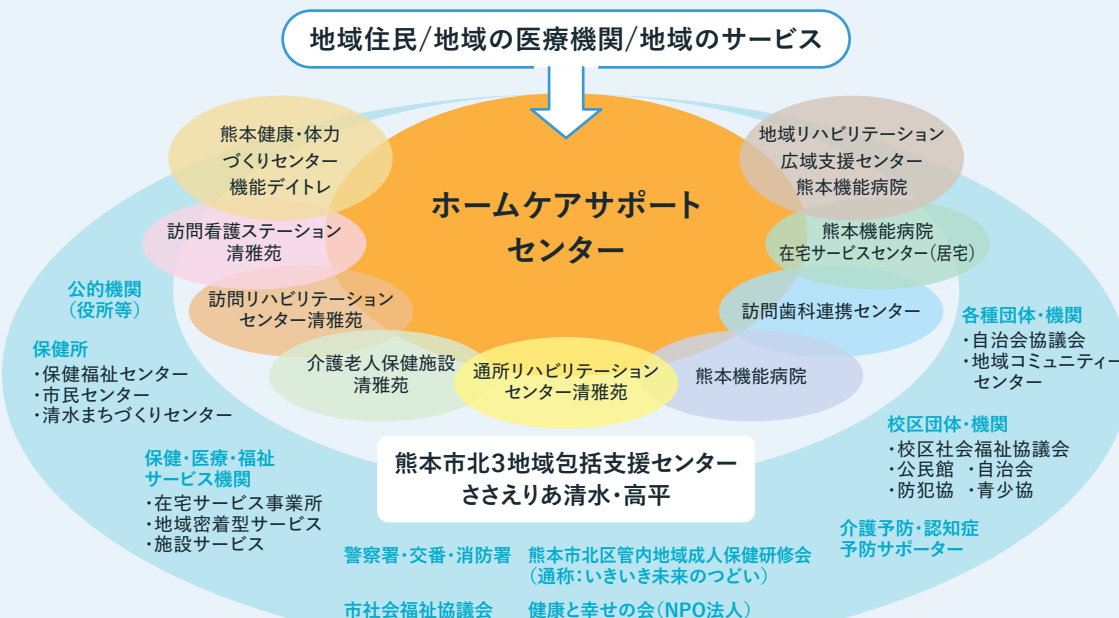
介護老人保健施設清雅苑
施設長

野尻 晋一
SHINICHI NOJIRI

MESSAGE

昭和63年の開設以来、在宅復帰・在宅支援に力を入れて参りました。在宅超強化型老健として医療機関退院後の円滑な在宅復帰の促進、その後のQOLの高い在宅生活の支援にホームケアサポートセンターとともに活動しています。

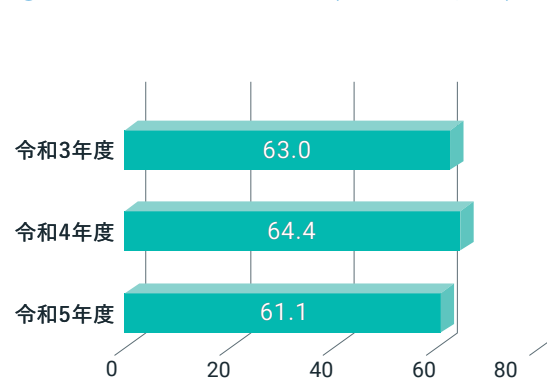
ホームケアサポートセンターを中心とした地域ケアサポートシステム



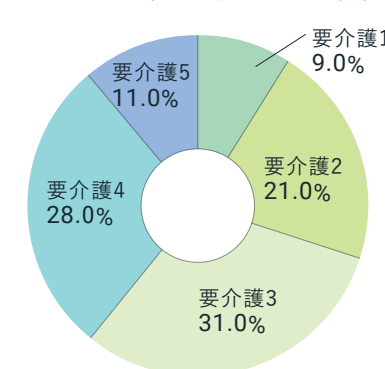
■介護老人保健施設 清雅苑(在宅超強化型老健)

高い在宅復帰率を誇り、全国で30%未満しかない在宅超強化型老人保健施設を維持しています。多職種協働により常に在宅生活を意識した、リハビリテーション・ケアをご利用者の状態像に合わせ提供しています。

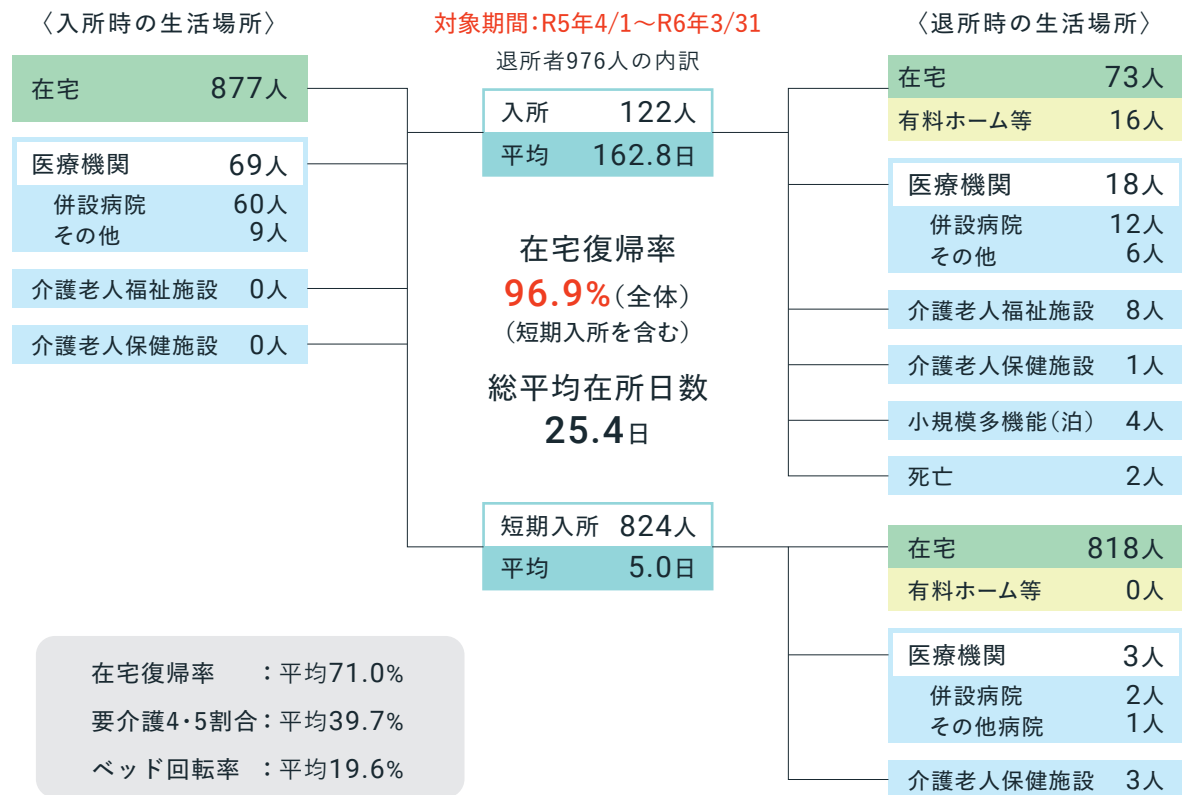
○1日当たり平均入所者数(短期入所含む)



○平均要介護度(入所、短期入所)(R5年度)



○清雅苑入所者の流れ



A.I.Viewlife

自立支援型見守りロボット
導入しています!

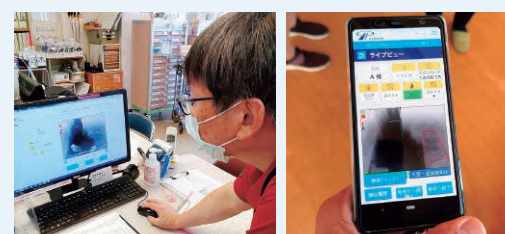
介護現場の「見える化」を
実現する介護見守りロボット



入居者のプライバシーに配慮しながら、画像認識によって「**看護・介護現場の見える化**」を実現させ、拘束しない見守りによる入居者の自立支援、重度化の防止を目指す次世代型の見守りロボット



広角IRセンサーを採用することで、従来センサーでは不可能であった**居室の全エリア**を対象とした**危険予兆動作と危険動作**を検知することができる。また、生体センサーと組み合わせて常時見守りを行うことで、重大な事故の防止につなげる

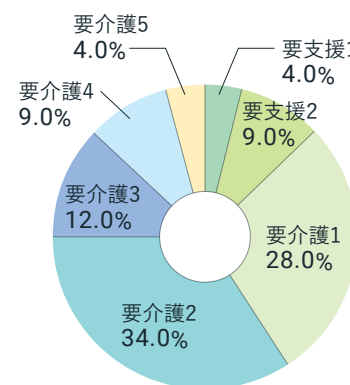


スタッフルーム、スマホで設定、確認、応答ができる!

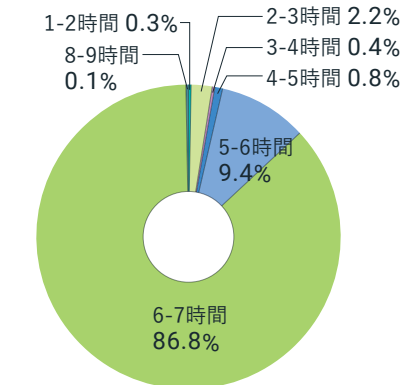
■通所リハビリテーション

できるだけ自立し活動的な在宅生活が送れるように、充実した専門職が、医師の医学的管理に基づいて質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。リハビリの提供プロセスを管理するリハビリテーションマネジメントも、最もグレードが高いリハビリマネジメントを99%取得しています。

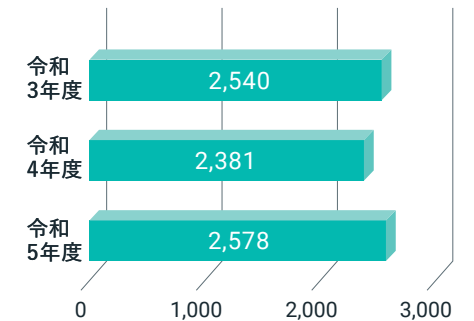
○要介護度の分布 (R5年度)



○利用時間の割合 (R5年度)



○1月当たり平均通所利用者数



/ 通所リハビリで障がい者スポーツ大会へ向けた練習 /

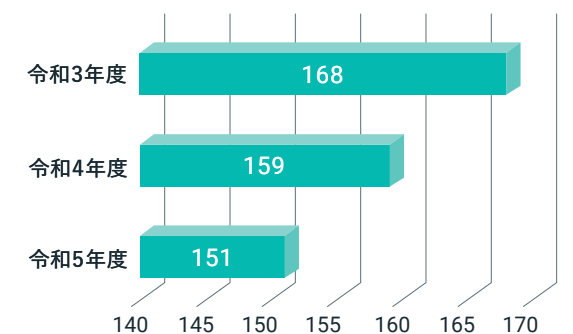


/ ご自宅でのリハビリテーション会議 /

■ 居宅介護支援事業所 熊本機能病院在宅サービスセンター

熊本機能病院、介護老人保健施設清雅苑相談室、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどのスタッフと適切な連携を取りながら利用者及び、その家族に応じたきめ細やかなサービスを提供しています。

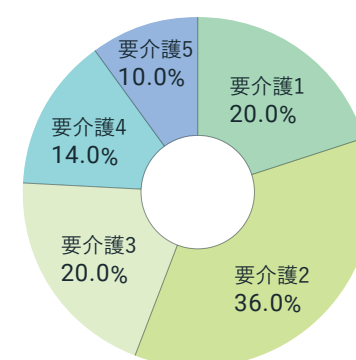
○一月平均 取扱件数



R5年度

介護支援専門員	6名(専従5名・兼務1名)
基礎資格	保健師・看護師 社会福祉士・介護福祉士

○要介護度の分布 (R5年度)

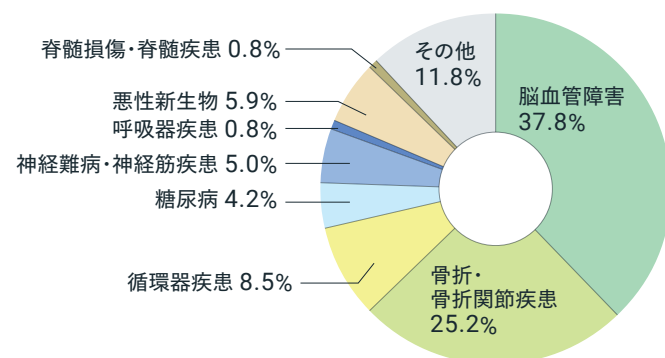




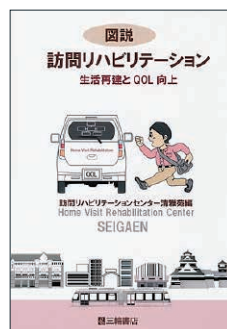
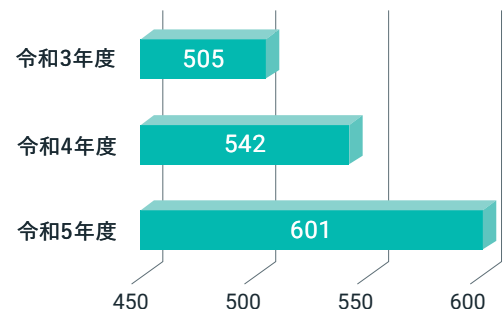
訪問リハビリ

退院・退所後及び在宅で生活機能が低下した方の心身機能の維持向上、生活の自立、地域参加を目指し、状態像に合わせたリハビリを実施します。

訪問リハビリテーション疾患別分布（R5年度）



訪問リハビリテーション一月平均延べ件数



2013年に当事業所の訪問リハビリテーションの戦略を書籍化しスタッフ教育にも力を入れています。

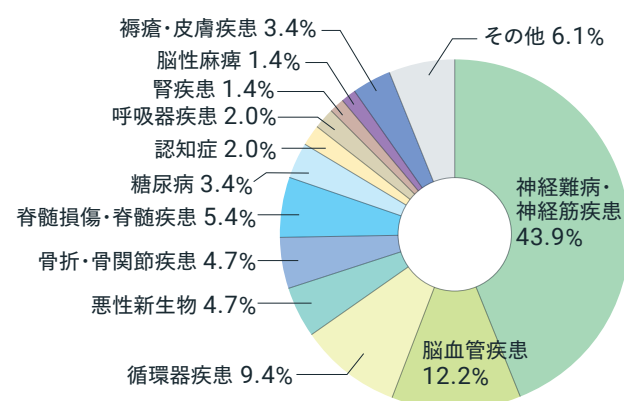
訪問看護

小児から高齢者まで幅広く対応しています。医療ケアの他、地域のクリニックの先生からの依頼でターミナルの患者さんを受け入れ、在宅生活が安心して送れるよう、緊急体制、定期訪問、臨時訪問がいつでも可能な体制をとっています。

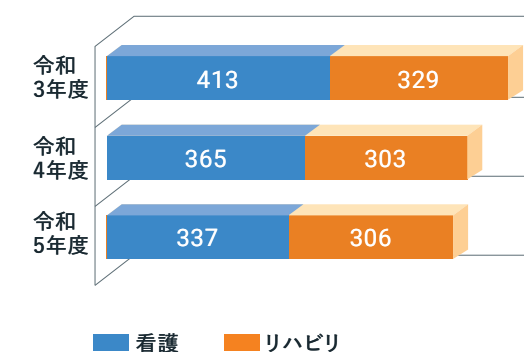
併設病院からの退院後の難病の患者さんは入院中より医療連携部と連携しながら、情報を共有し、スムーズに在宅へ移行できるように支援しています。医療保険も対応しています。



訪問看護ステーション疾患別分布（R5年度）



訪問看護ステーション一月平均延べ件数



INSTITUTE OF TOTAL FITNESS/DAY TRAINING

熊本健康・体力づくりセンター 通所介護 機能デイトレ



厚生労働大臣認定
健康増進施設 指定運動療法施設



熊本健康・体力づくりセンター
所長
原田 栄作
EISAKU HARADA

MESSAGE

ようこそ熊本健康・体力づくりセンターへ、ありがとうございます。寿量会理念ソーシャルインクルージョンのもと、病気や怪我の有無、年齢に関わらず、あらゆる方達の体力づくりを応援する空間です。

熊本健康・体力づくりセンター

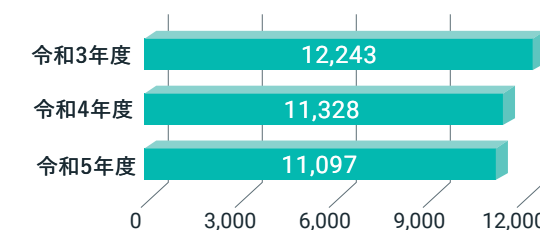
スポーツ選手から高齢者まで、 健康と体力づくりを専門的にサポート

熊本健康・体力づくりセンターは、厚生労働大臣認定の指定運動療法施設です。

地域の方、患者さん、スポーツ選手等のフィットネスプログラムを熊本機能病院と連携して提供します。



トレーニングルーム利用者数



主な取り組み 外来心臓リハビリテーションを 熊本機能病院と連携して実施

介護予防事業	大津町、宇城市、熊本市
スポーツ事業	鹿本高校、熊本国府高校、済々黌高校、九州東海大学、再春館製薬、熊本第一高校、菊池女子高校
メディカルチェック	ロアッソ熊本

熊本健康・体力づくりセンターでは
ホームページでブログも書いています。
タブレット、スマートフォンにも対応しています。
<http://medicalfitness-kumamoto.com/>



通所介護 機能デイトレ

ご利用者の自己実現と笑顔をサポート

機能デイトレでは介護認定を受けた方の機能訓練を理学療法士、看護師、健康運動指導士、介護福祉士が支援しています。



介護度の内訳(人)

	R4	R5
要支援1	289人	242人
要支援2	282人	269人
要介護1	173人	146人
要介護2	74人	130人
要介護3	32人	22人
要介護4	13人	24人
要介護5	0人	0人

機能デイトレ 利用者数(人)

	R4	R5
利用者数	4,771人	5,063人

有明海リハビリテーション クリニック

南区で地域に根差した 医療を提供する

平成12年に開院した当院は、外来診療・訪問診療に、通所リハビリを併設しています。地域に根差した医療を担うとともに、同じ敷地内にある天寿園などの各施設の入居者や職員の心身の健康維持にも取り組んでいます。



有明海リハビリテーション
クリニック 院長
梶原 瑞恵
MIZUE KAJIWARA

MESSAGE

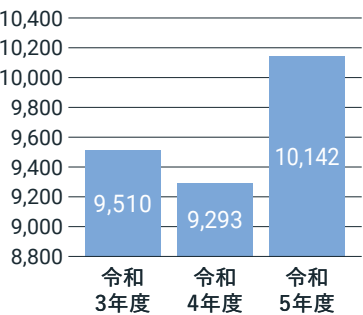
当院は内科全般、整形外科、リハビリテーション科を中心に、地域の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるように優しい医療、看護を実践するとともに、常に患者様のそばで寄り添うクリニックでありたいと思います。



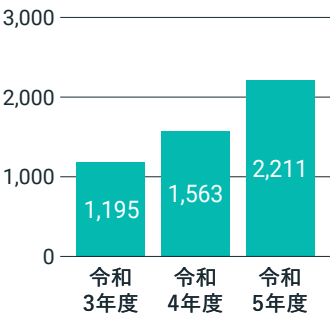
主な取り組み

- 一般外来診療の充実化に加え、訪問診療にも力を入れ、天明地区の地域医療の担い手として貢献する。
- 南キャンパス各施設の入居者の健康維持や看取りを実践するとともに、職員の心身の健康維持を図る。
- 熊本機能病院との連携を通じて、専門的治療の提供や退院後のフォローを行う。
- 南区認知症サポート指定医療機関として、地域の認知症を支える役割を担う。
- 地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携を図り、介護保険サービス（通所リハ）を提供する。

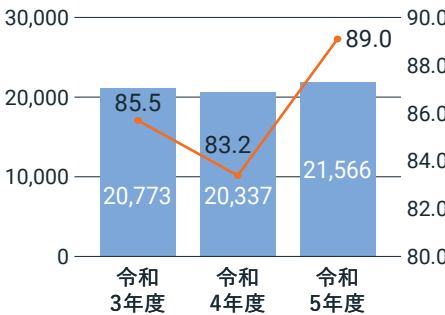
○外来リハビリ総数（件数）



○通所リハビリ総数（件数）



○外来患者延数 ○1日平均患者数



暖

介護用品のレンタル・販売の 快適生活コンサルタント

私達は介護用品や福祉用具の知識と住環境整備については豊富な経験を持つ専任の福祉用具プランナーが相談を承ります。「お客様の快適な生活のために何が必要かを一緒に考え、安心した日々を過ごして頂けるよう心をこめてお手伝いします。



暖 ゼネラルマネージャー
瀬脇 和人
KAZUTO SEWAKI

MESSAGE

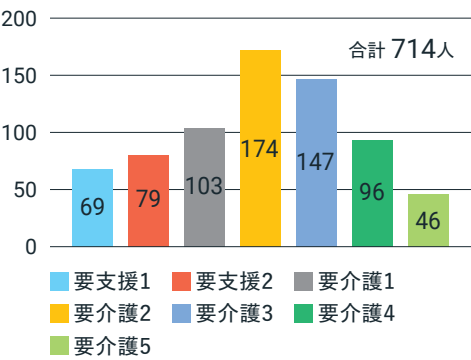
高齢者の在宅生活をサポートするのに欠かせない介護保険制度に基づく介護用品のレンタル・販売・住宅改修サービスを提供しています。これからも“お客様の要望に応えたい”という想いでがんばります。



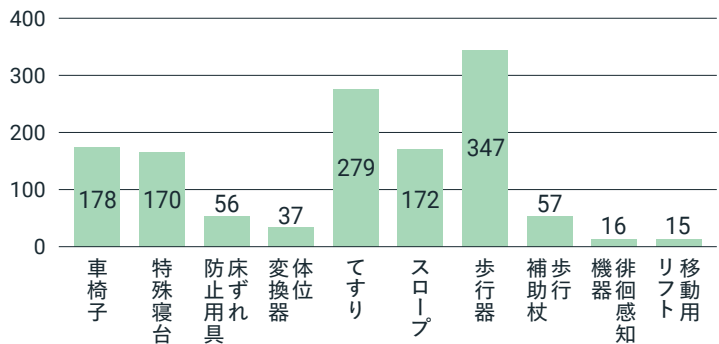
○売上&契約件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上	1億400万円	1億300万円	9,900万円
契約件数	8,740件	8,599件	8,204件

○介護度別利用者数（令和5年度）



○項目別実績（令和5年度）



なないろ森の保育園

小国杉の香りにつつまれた
保育園

「なないろ」は、虹が持つ希望あふれるイメージや子どもたちのきらきら輝く様々な個性を、「森」は、その子どもたちがすくすくと成長する様子をあらわしています。

なないろ森は、毎日子どもたちの元気な声が響く、明るい保育園です。インスタで園の取り組みを地域に向けて発信するなどして、開かれた保育園を目指しています。



なないろ森の保育園
園長
小池 亜津子
ATSUKO KOIKE

MESSAGE

2016年に開園した「なないろ森の保育園」も8年が過ぎました。

子どもたちにとって毎日楽しい保育園、保護者の方にとって安心して預けられる保育園であるよう職員みんなで頑張っています。



保育理念 いっぱいあそんで いっぱい感じる

保育目標 あそべる子 … たのしく なかよく げんきよく
感じれる子 … みて ふれて かんじて



/ ミニ運動会 /



/ クリスマス会 /



/ 第8回卒園式 /

Instagramで
園の情報を
発信しています。
覗いてみてください！



主な取り組み

- ◎ 園外活動・戸外遊びの充実
 - ◎ 季節ごとの行事や遊び
 - 4月 入園進級式・クラス懇談会
 - 5月 内科健診・芋苗植え
 - 6月 歯科検診・プール開き
 - 7月 七夕会
 - 9月 ミニ運動会
 - 10月 ハロウィン
 - 11月 芋ほり・内科健診
 - 12月 クリスマスお楽しみ会
 - 2月 節分
 - 3月 ひな祭り会・お別れ会・卒園式
-
- 毎月の誕生会・身体測定
 - 専門講師による
リトミック(リズムあそび)
なないろりんご(英語あそび)
 - お弁当の日の実施 年3回
 - 災害訓練(火災・地震・防犯等)
 - 行事等を通しての他部署との交流